

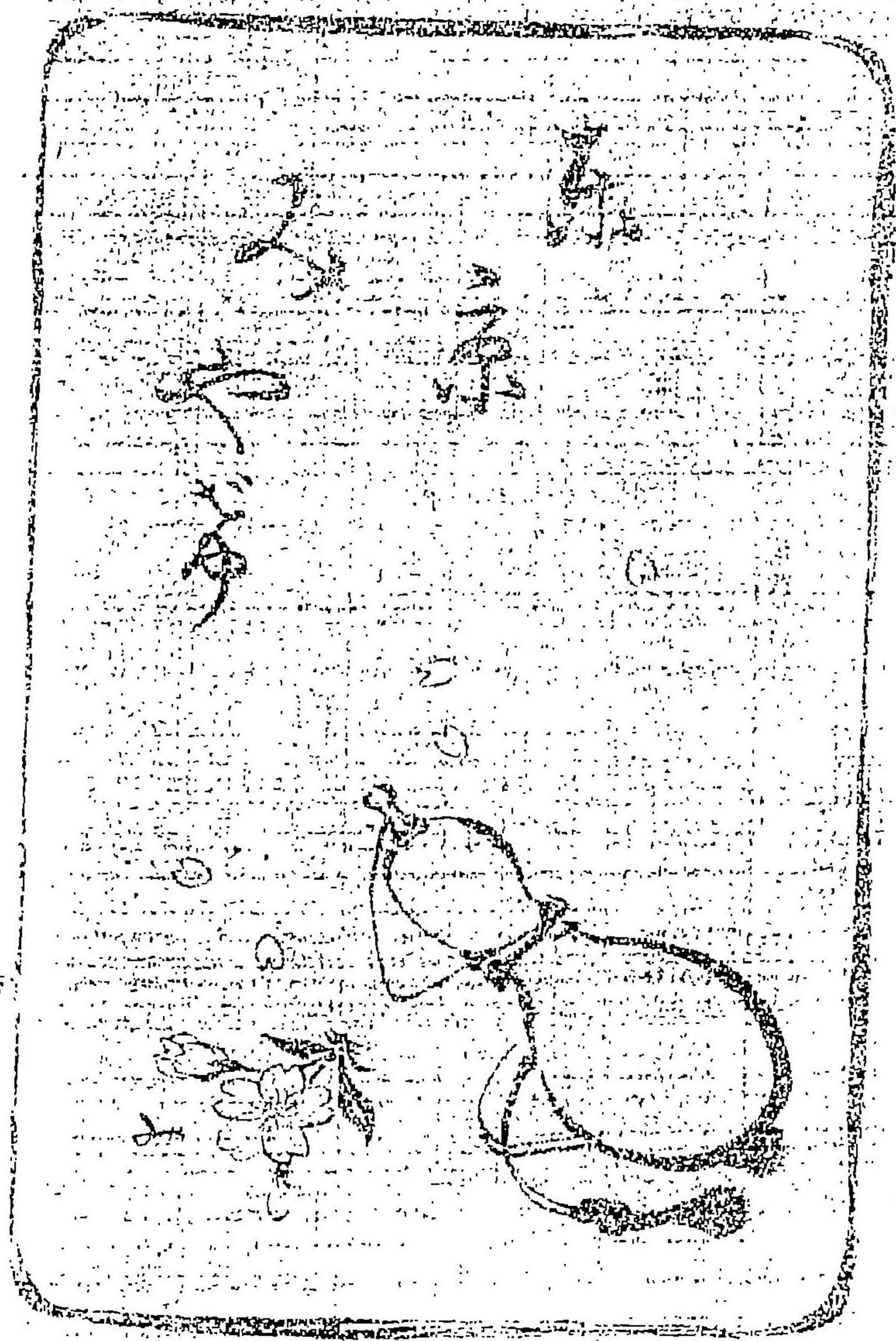
蘇州府志

卷之四

全

4(1)

11  
11



東京土産

歌人よ望あきらめよと

いづるのちみきほのほみ

諸君ふ都さうる播磨のみらん

事をと知らし老人がるぬ流の

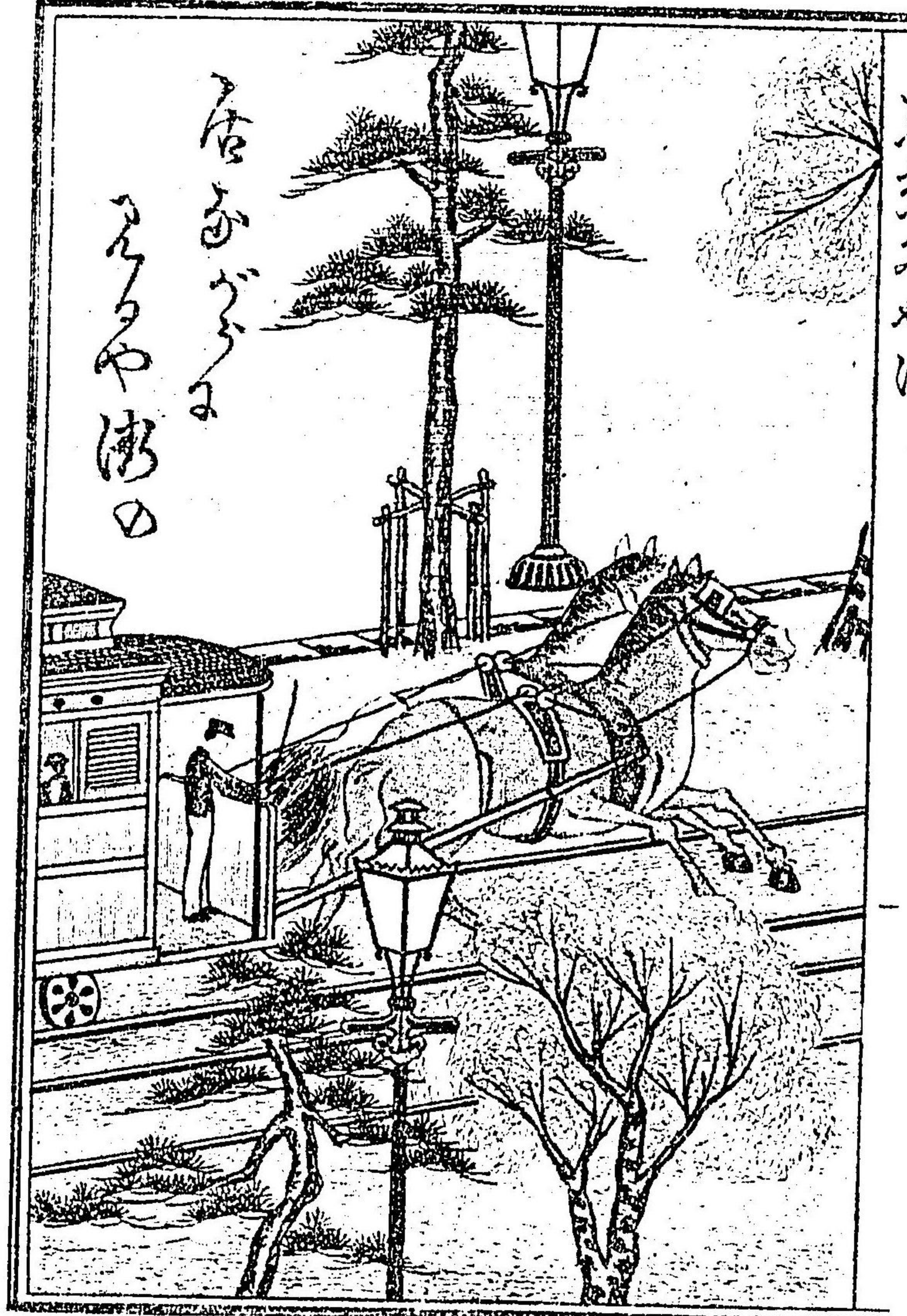
山舞あさるる

山舞あさるる

トシヨメノギ



梅どた



居ふがま  
るや海

トシヨメノギ





都立植物園

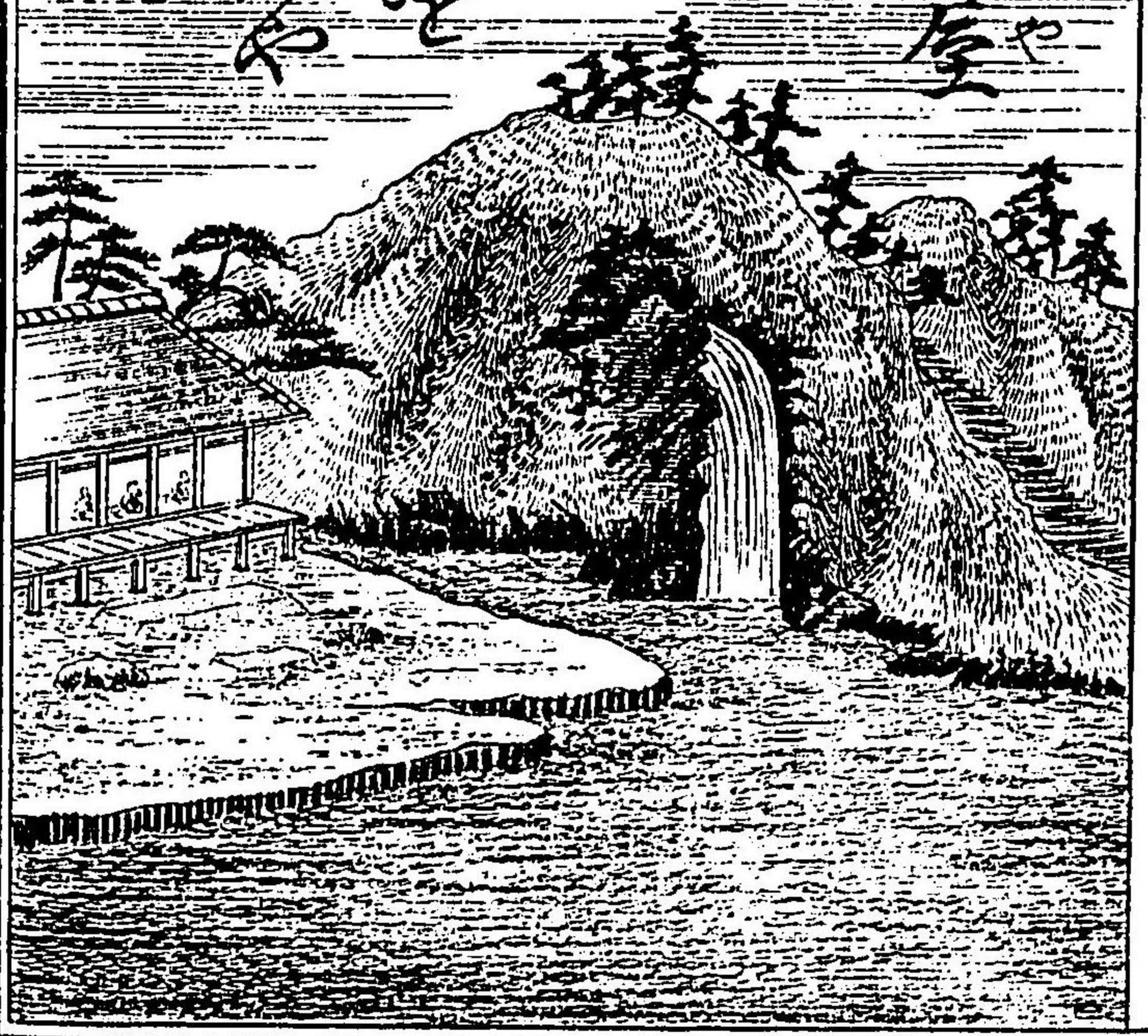
○ 糸川	○ 蕨気取	○ 月のみさね	○ 川崎大師
○ 首尾の松	○ 十三号の塔	○ 岩原のぶね	
○ 成田不傷	○ 西の二市	○ 深井の菊	
○ 海安寺の松	○ 吾妻の木林	○ 玉川の綱布	
○ 新橋 ステンシヨ	○ 日中橋	○ 水天	
○ 電気燈	○ 山殿山の桜	○ 枚田の梅	
○ 水神の森	○ 柳崎妙見	○ 今戸の明楼	
○ 聖堂坂	○ 亀井戸天神	○ 向崎梅翁塔	
○ 湯崎天神	○ 見返り柳		

目 録 終



東京土産

見の海茶屋  
お茶を  
さし身ごと  
さしゆくまは  
あきらまる



石橋の夜景  
佳境あり  
一さくさくの  
お茶を  
さしゆく





慈母の心

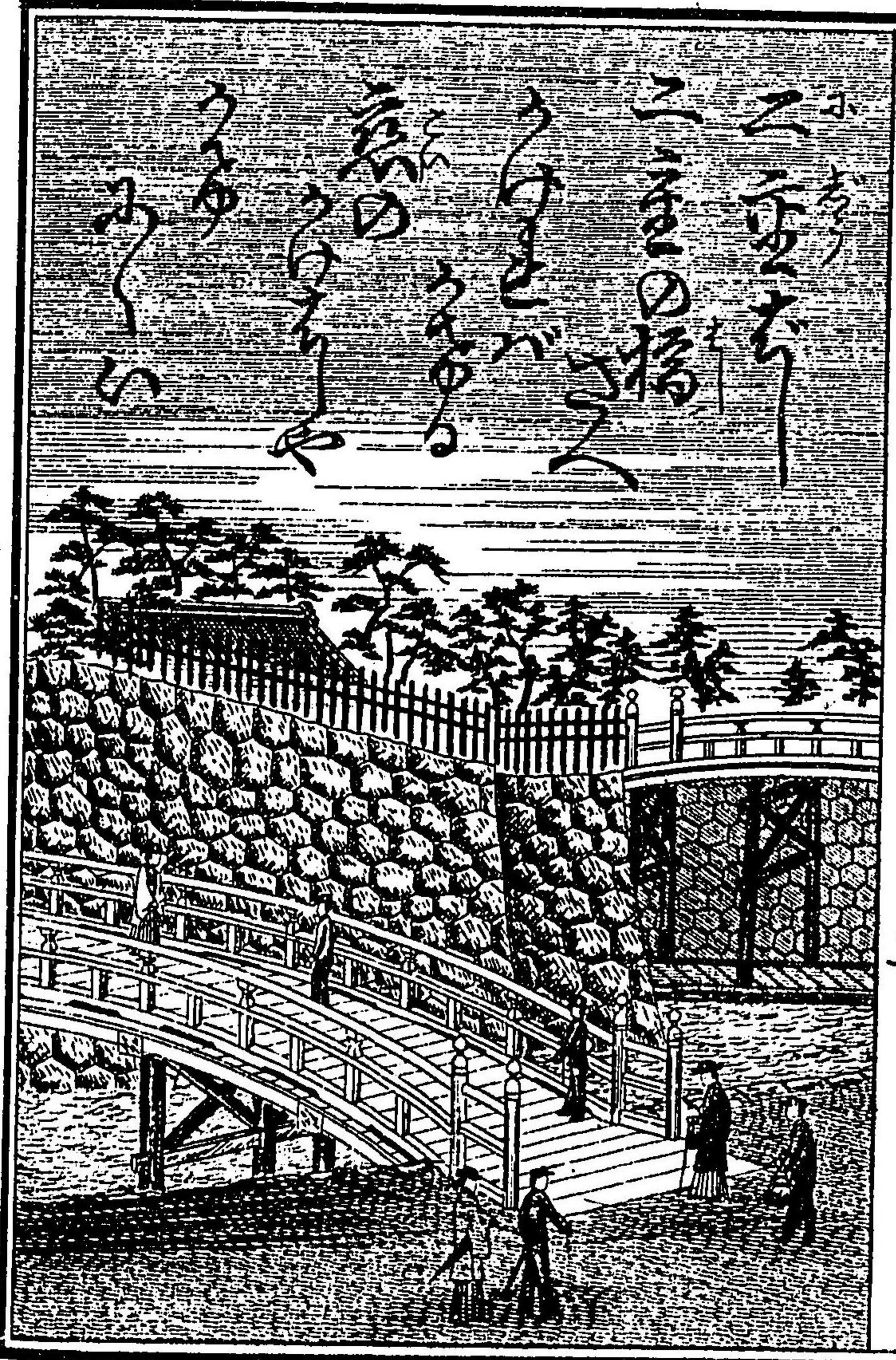
二重の橋

三重の橋

四重の橋

五重の橋

六重の橋



上野清水

清水

清水

清水

清水

清水

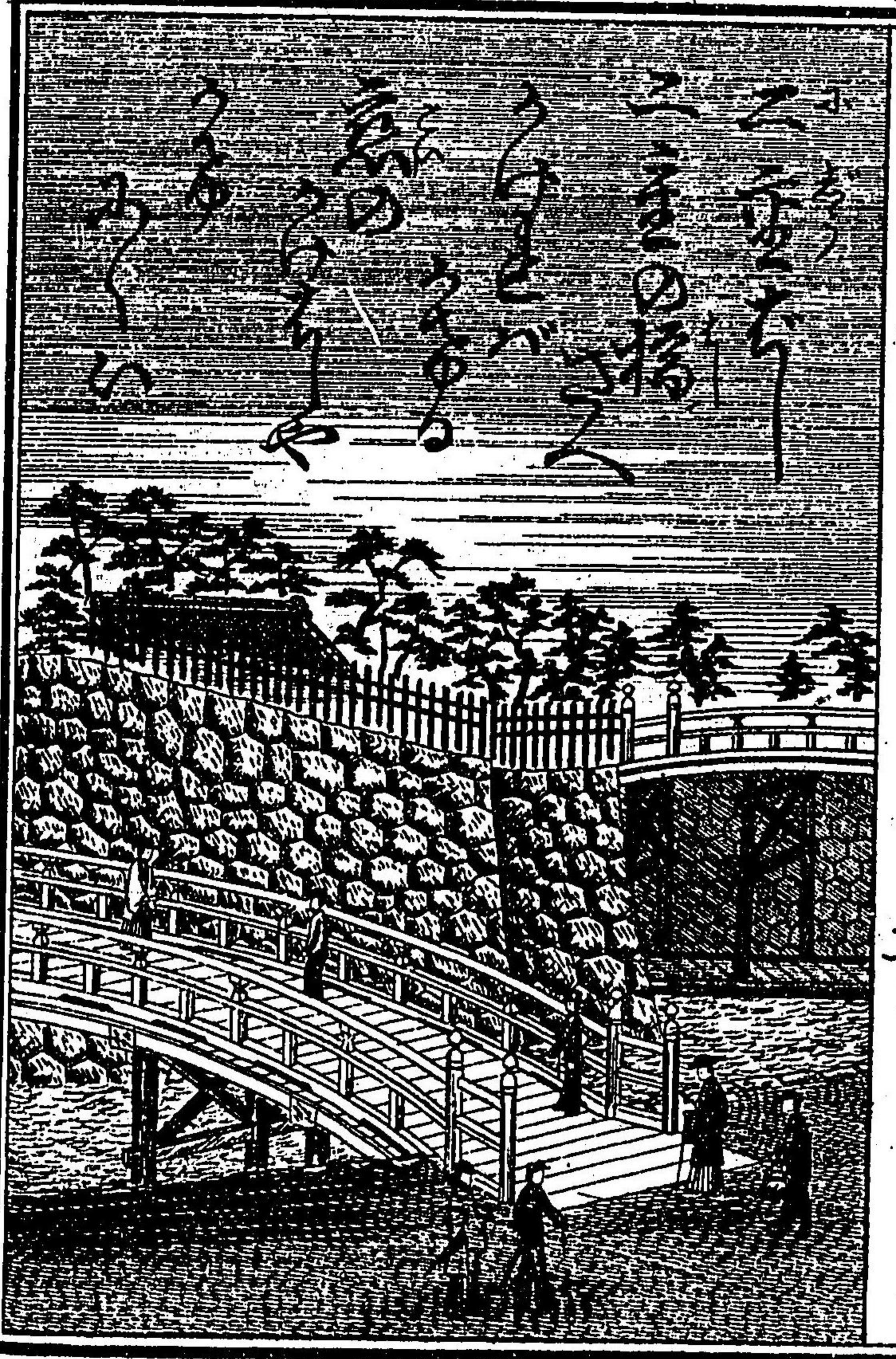
清水



上野清水

上野清水

新緑の池



新緑の池  
春の光  
白雲が  
空を  
渡る  
鳥の  
さえずり  
あふ  
く

上野清水

清らかな  
水

影  
の  
ま

山  
の  
花

花  
が  
あ  
ら  
う



新緑の池

三

新編 浮城物語

こいし川 ちや お茶の水

いし川 ちや 茶

いし川 ちや 茶

いし川 ちや 茶

いし川 ちや 茶



りやぐ ちや 角

角 ちや の 角

角 ちや の 角

角 ちや の 角

角 ちや の 角

角 ちや の 角



新編 浮城物語

新緑の川

小石川お茶の水

小石川

お茶の水

お茶の水

お茶の水



も国回向流角力

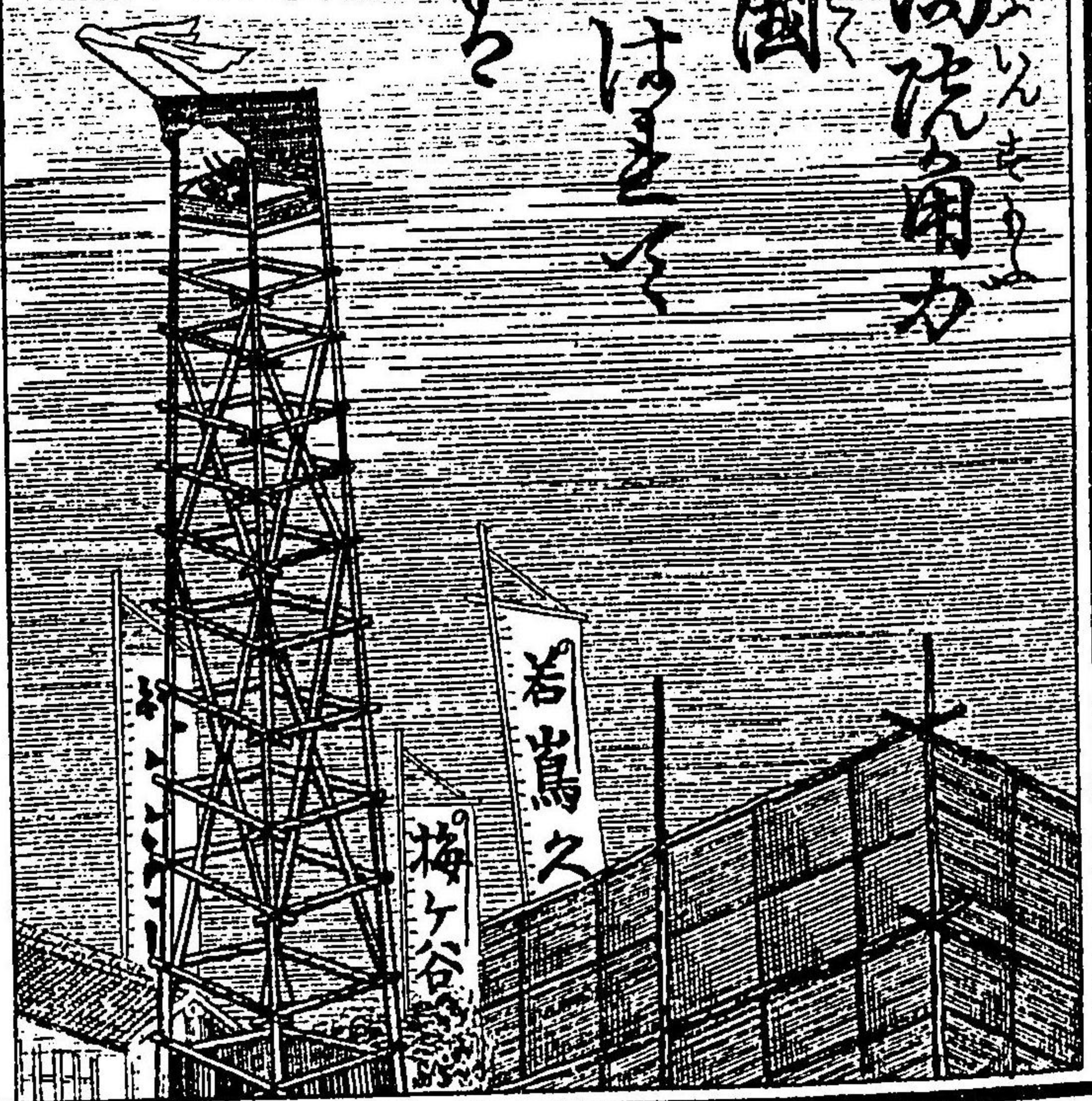
角力

晴天十のけ

お茶の水

うら

か



新緑の川

新編  
御成敗式目

おんり  
清釣り橋

はなむら  
りらぬき

えんぶ  
ぢららぬ

くろ  
ねんらぬ

あつ  
つゆつ子

あつ  
つゆつ子



あつ  
つゆつ子

あつ  
つゆつ子

あつ  
つゆつ子

あつ  
つゆつ子

あつ  
つゆつ子



新編  
御成敗式目

四

清約り橋

はなむら

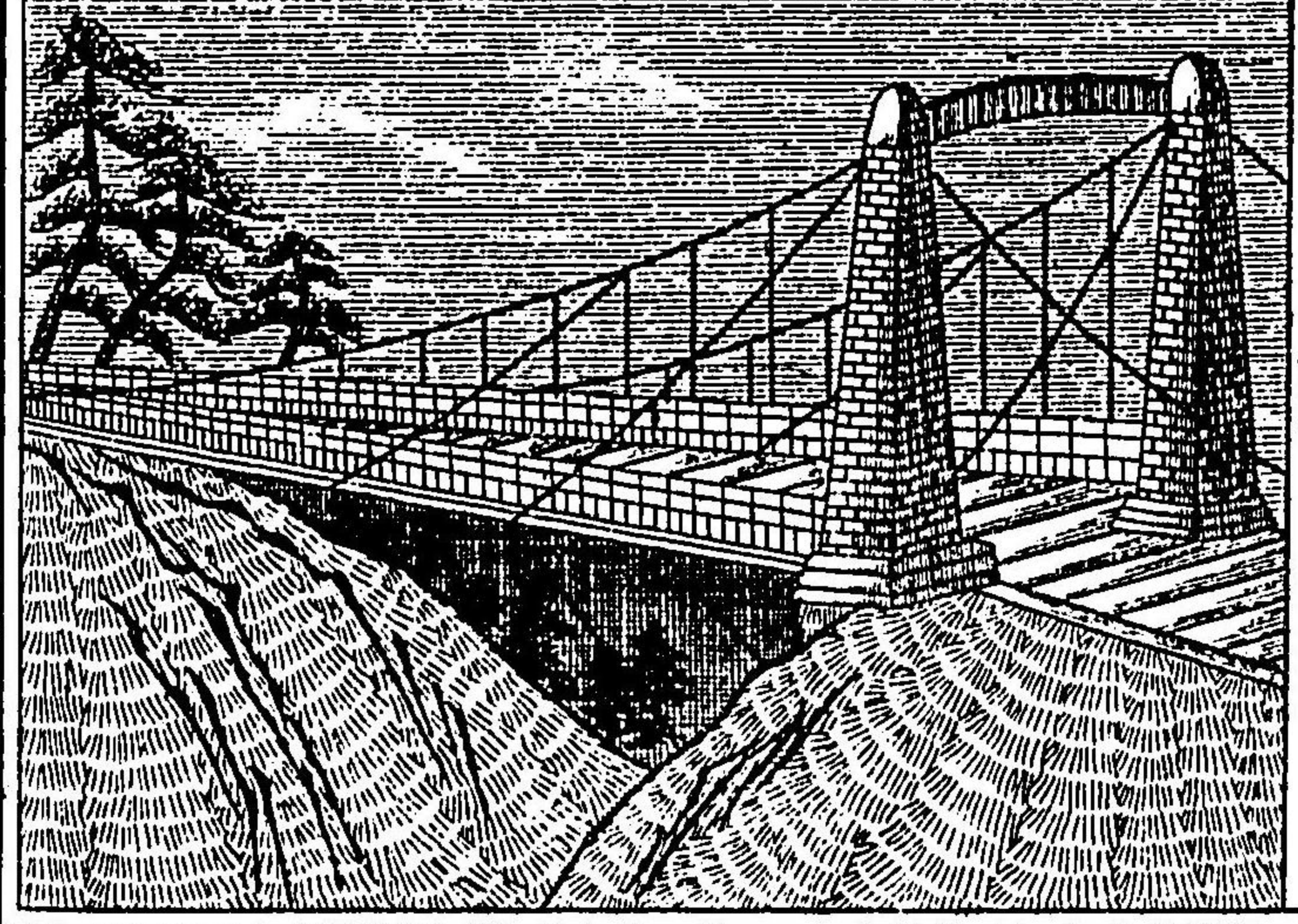
しらぬき

えんぶやう

くろま

ねんらぬ

あづはつ子



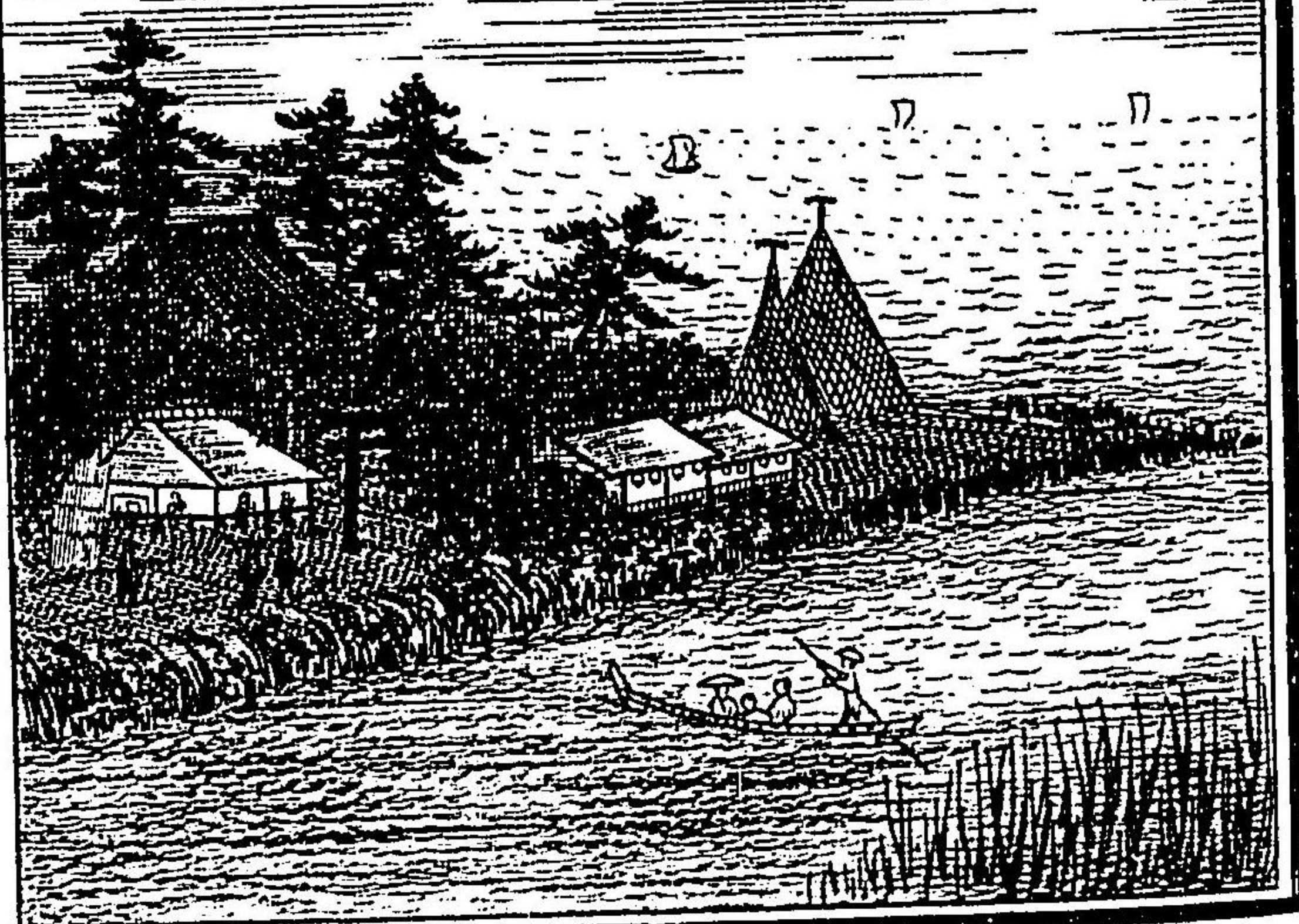
羽根田の天

とつね

あんなきん

あま

原のよ



新田金海

和田金海

和田金海

和田金海

和田金海

和田金海

和田金海



和田金海

和田金海

和田金海

和田金海

和田金海

和田金海

和田金海



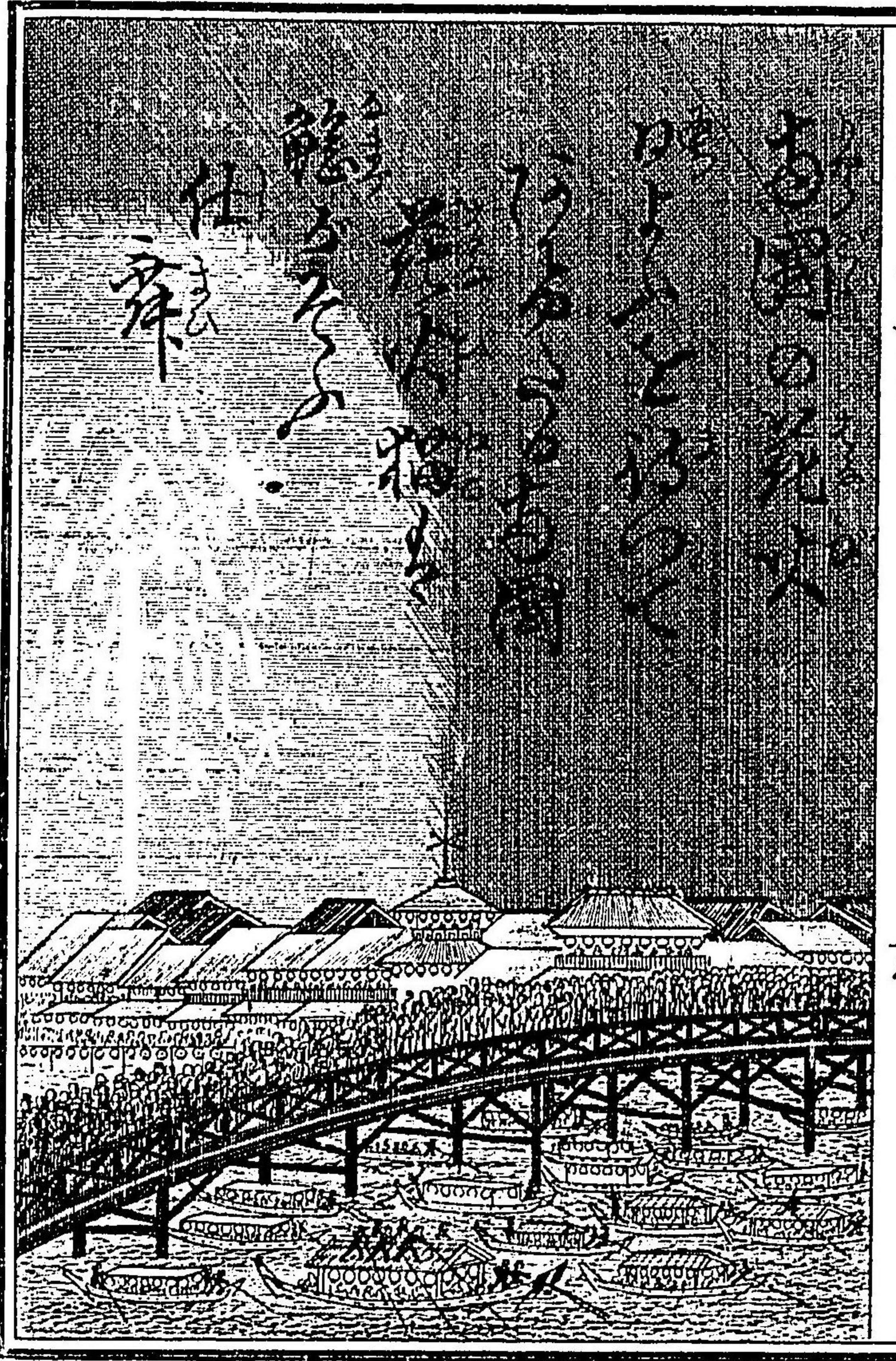
和田金海



仲の丁

花の丁

仲の丁夜櫻  
新あて  
や石  
花化石  
花の丁



仕舞  
花の丁  
花の丁  
花の丁  
花の丁

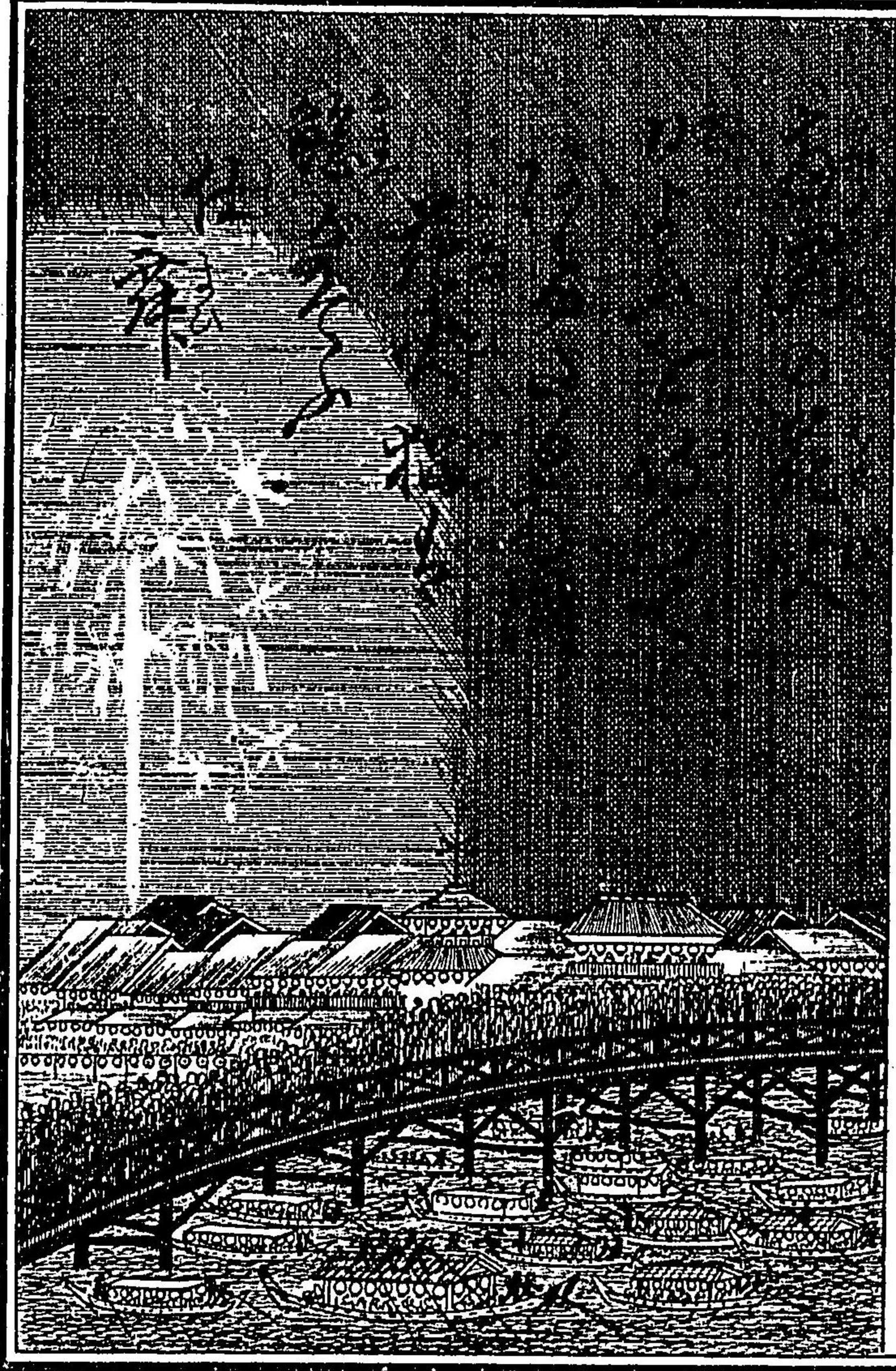


新編 浮城物語



仲の丁夜橋  
蘇南  
新編 浮城物語

仲の丁



新編 浮城物語

虎の門 虎の門 虎の門

虎の門 虎の門 虎の門

虎の門 虎の門 虎の門

虎の門 虎の門 虎の門

虎の門 虎の門 虎の門

虎の門 虎の門 虎の門

虎の門 虎の門 虎の門



明崇の天

明崇の天

明崇の天

明崇の天

明崇の天



明崇の天

舟のり

五木杭

百廿杭まき

舟にまき

舟

舟も舟のり

舟も舟のり



隅田堤の花

船も舟のり

人力車

舟も舟のり

隅田堤の花

舟も舟のり

舟のり

舟のり



舟のり

舟のり

舟のり

舟のり

舟のり

舟のり

舟のり



隅田堤の花

舟のり

人力車

舟のり

隅田堤

舟のり



舟のり

想恋の如し

美乳山

まじを

美乳の

聖なる

河原

交野中



九

枕橋の松

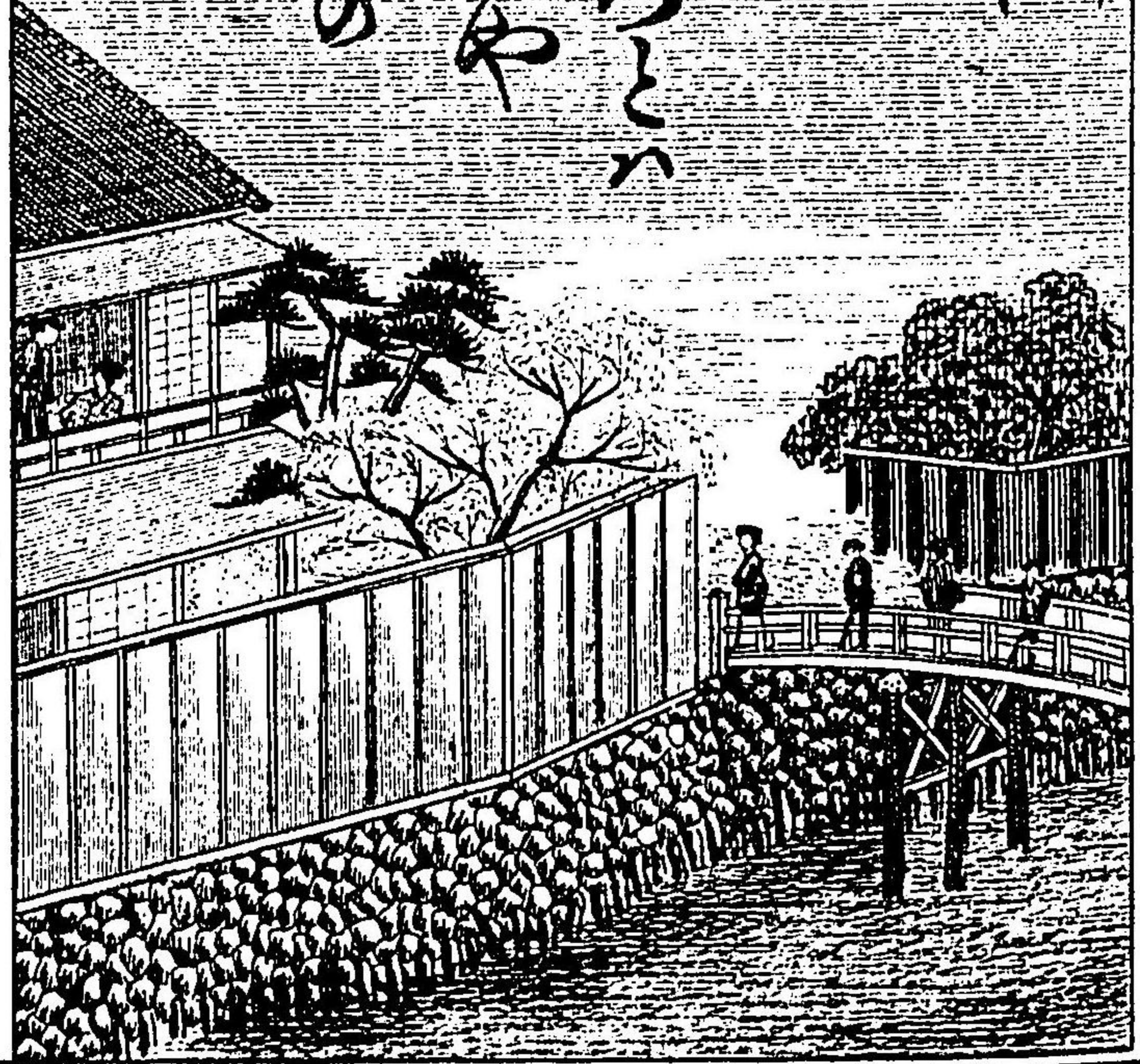
枕の

まじを

橋の

美の

るん



美の



柳橋  
かまろが かし

舟者  
ふねしや

おそい  
おそい

かまろが  
かまろが

力車  
りきしゃ



根岸西行の松  
ねがし さいぎょうのまつ

榎峯山の  
えのねのやまの

招き手の  
まねての

お好のま川  
おこのまがわ

お好と  
おこのと

お好のま川  
おこのまがわ



東家ぶら

三田くま

夕まや回

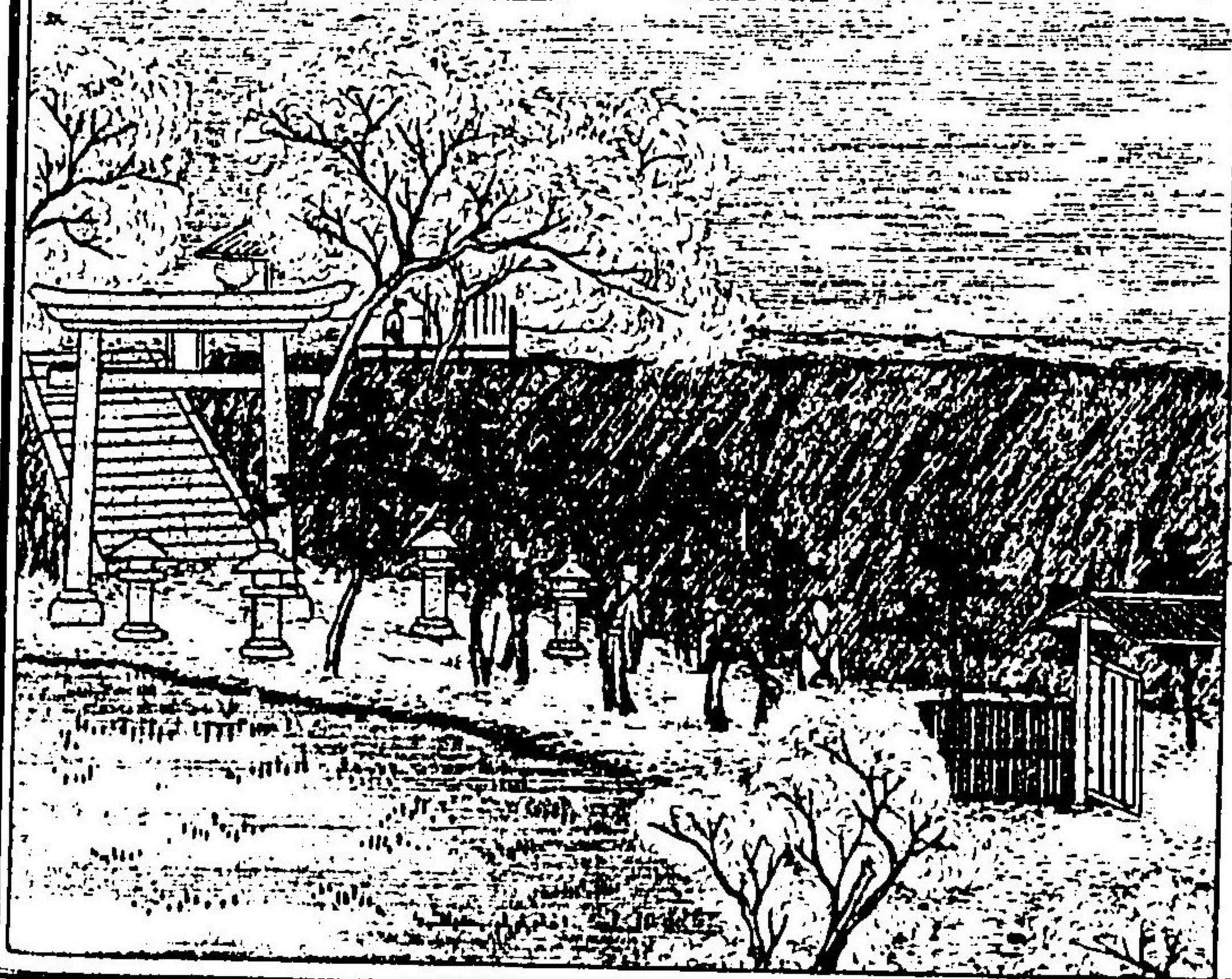
いんがら

あまがら

あまがら

あまがら

あまがら



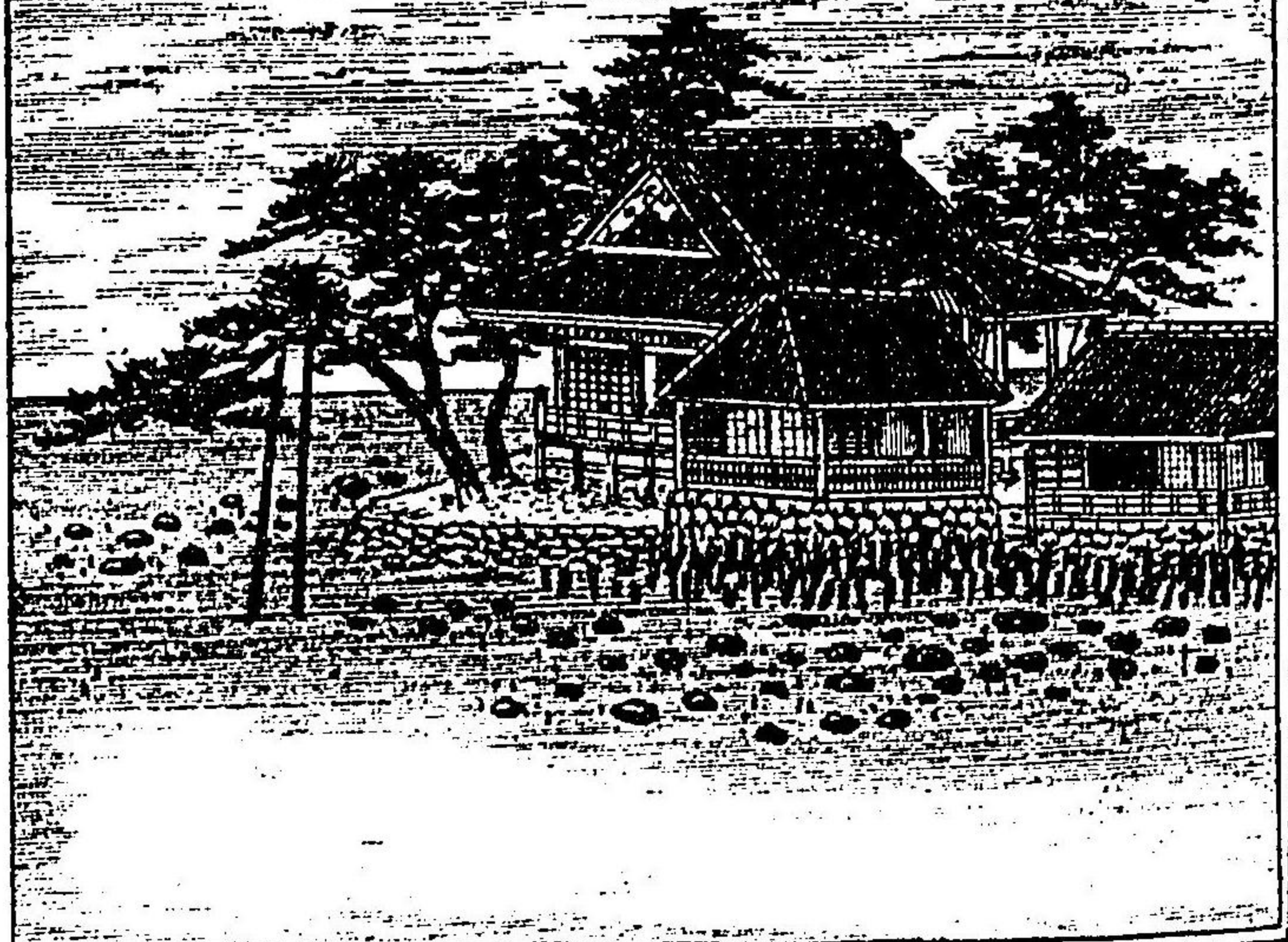
十一

不  
忍  
天  
今  
日  
自  
見

あまがら

あまがら

あまがら



東家ぶら

十一



せいのち  
笑口の滝

せいのち  
笑の笑口

せいのち  
せいのち

せいのち  
未六

せいのち  
せいのち

せいのち  
せいのち

せいのち  
せいのち



あまて  
尾多山橋

あまて  
笑口も

あまて  
尾多山でいぬ

あまて  
まら

あまて  
風

あまて  
うら

あまて  
人の山





心笑口の流  
流の美口  
未六  
ふがまて  
門



あまてう 花さくら  
飛鳥山梅  
咲くさくら  
咲きも 花さくら  
あまて  
花さくら べいぬ  
まらさくら  
花さくら  
風さくら  
うらさくら  
人の山

蘇我神社

つらきり

壱の

五月雨

水

あまの

まろ

と

百



めくらふと

目黒不動

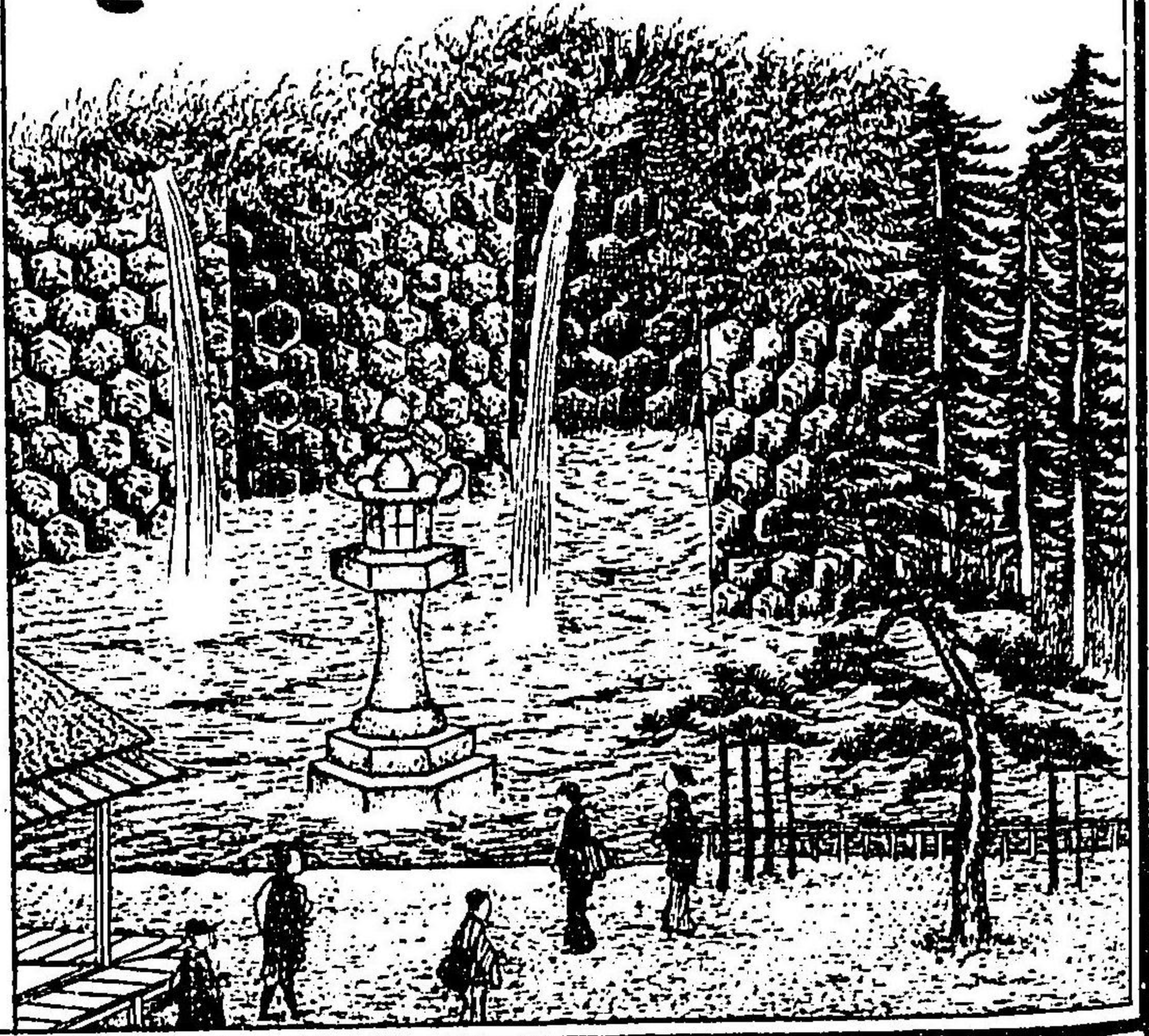
の

あま

あま

不動

く



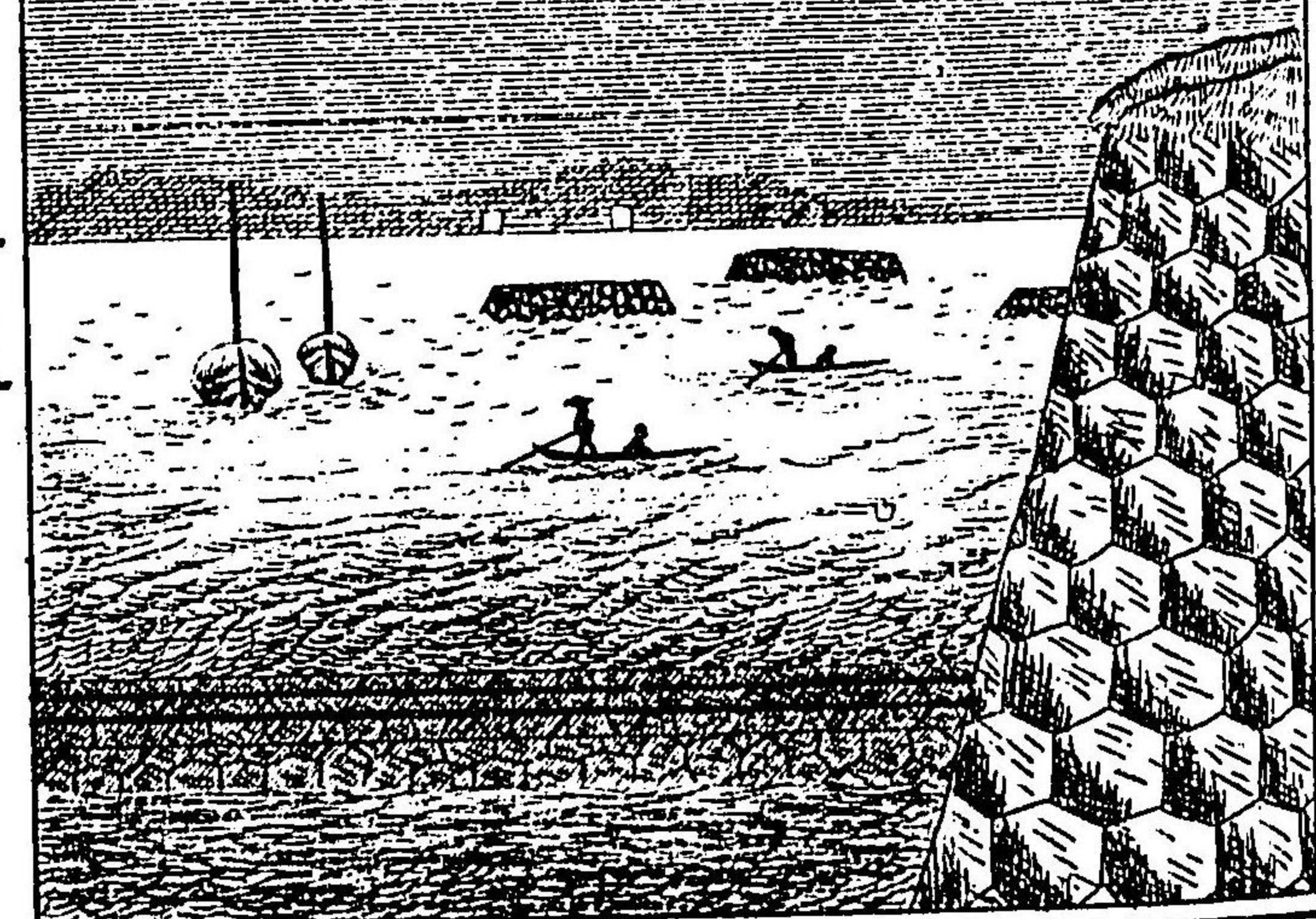
山崎

丁

ひがし<sup>ひ</sup>の里<sup>ら</sup>の橋<sup>はし</sup>  
 發<sup>は</sup>つと<sup>と</sup>り<sup>り</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>



る<sup>る</sup>輪<sup>りん</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>  
 へい<sup>へ</sup>い<sup>い</sup>と<sup>と</sup>



カハスツスス

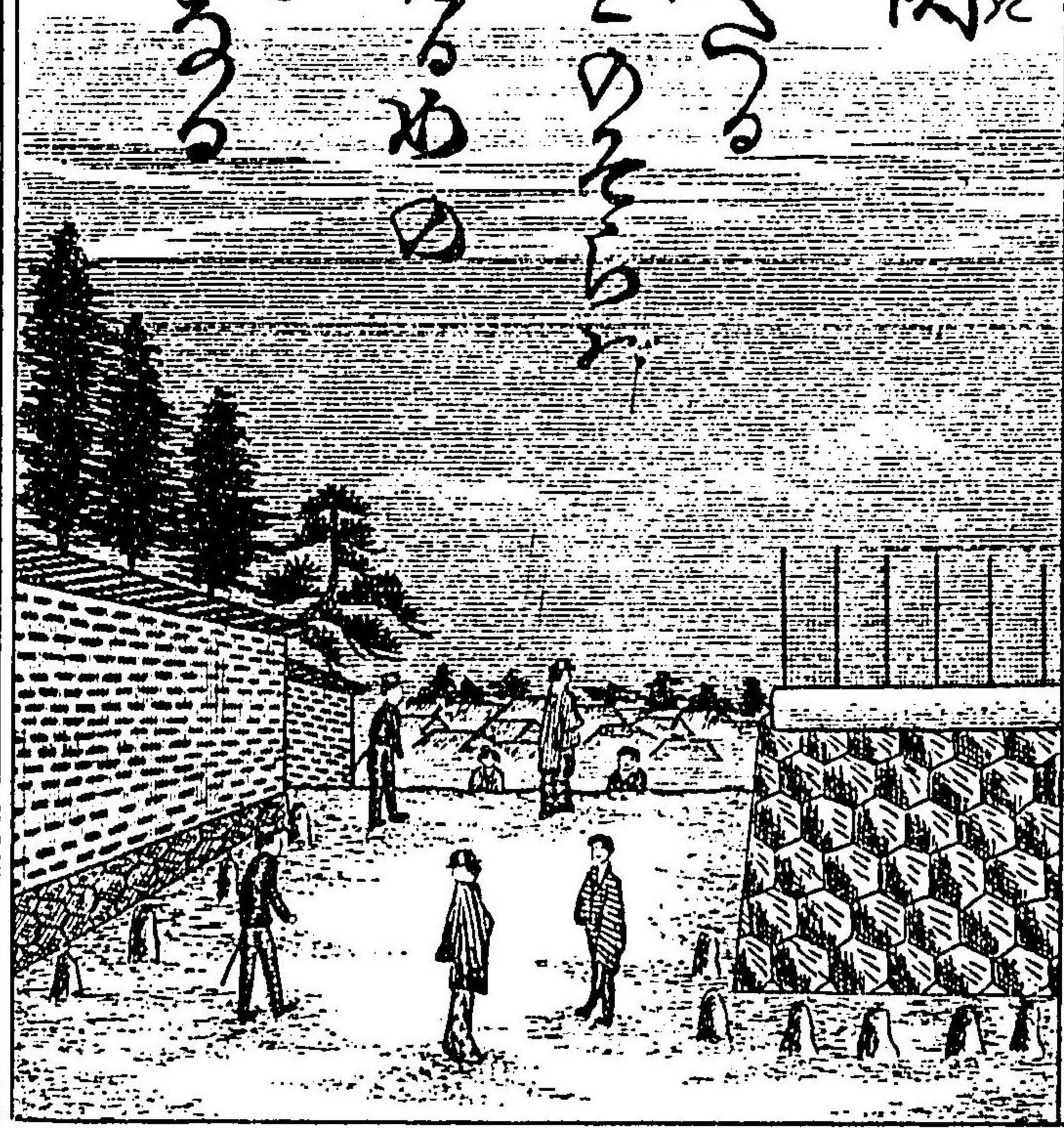
雨霞が関

雲しとるる

弥生のそら

花とるるぬの

笑とるる



十五

神田明神

おまのり

明神の

氏子の

おまのり



神田明神

池上本門寺

いそひ

池上本門寺

いそひ

いそひ

いそひ

いそひ



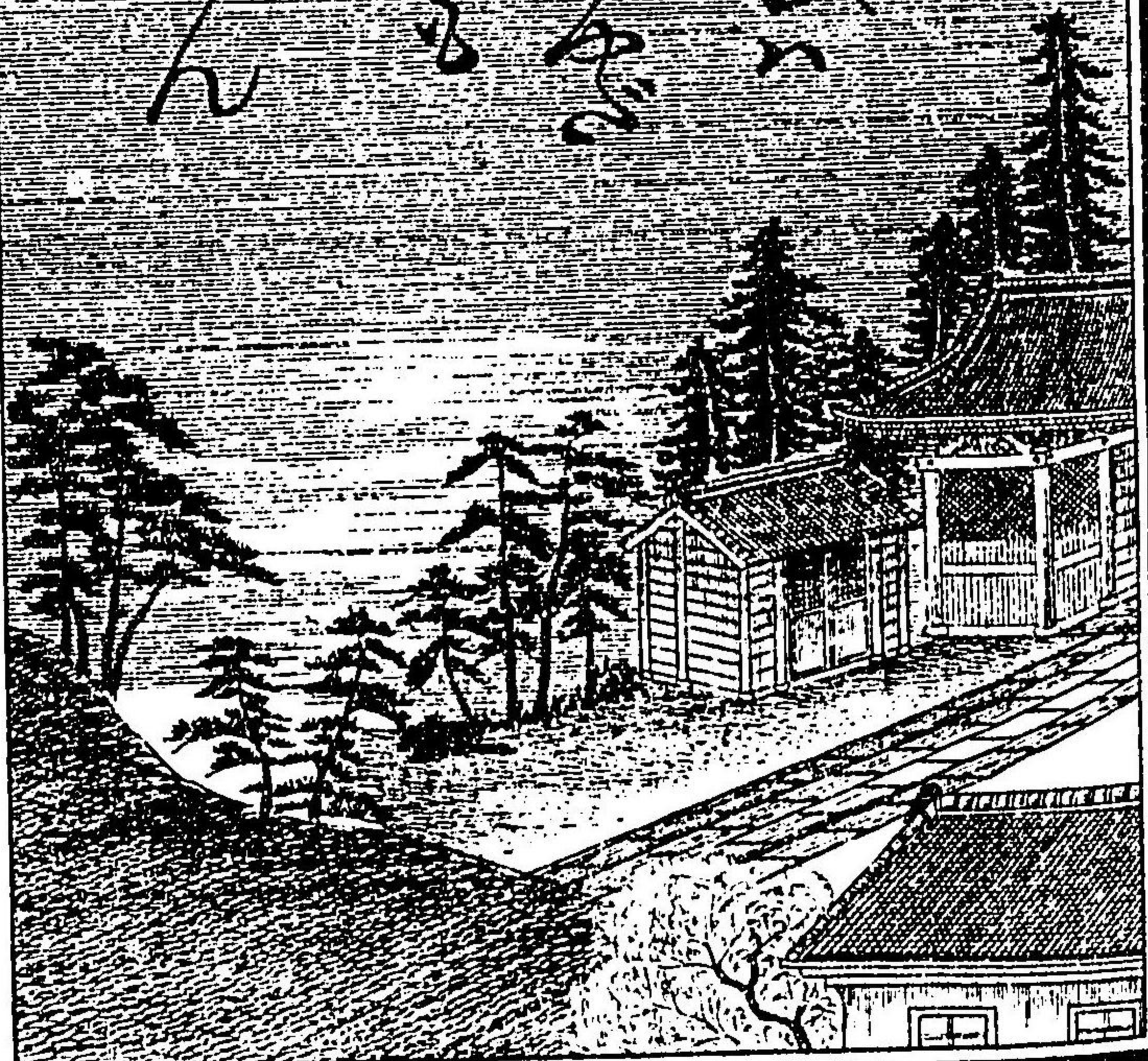
根津校視

あつこいお客

あつこいお客

あつこいお客

あつこいお客



池上本門寺

いみぎん

池上本門寺

まよ

あらい  
歩道ちや  
お祖師の

ふんり  
人力車



ねづ  
根津校現

あつこ  
志つこお家

あつこ  
あつこ

あつこ  
あつこ

あつこ  
あつこ



東海道



道灌山の橋  
道々見ん山路  
破またたき行

まじりて  
暮と  
なみ



九段坂  
招魂まらまら  
一杯呑んで  
破々九段  
坂で

東海道



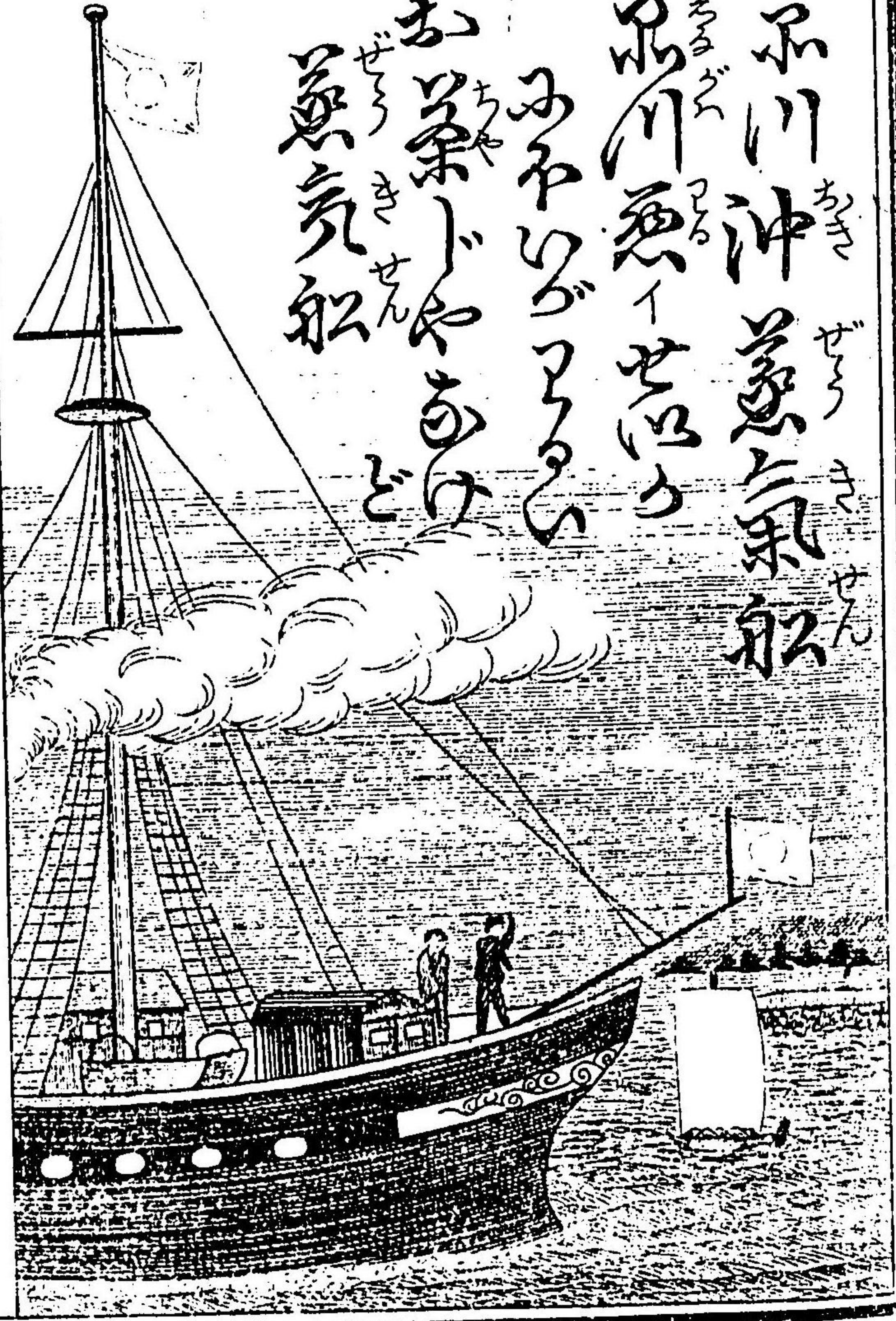


道灌山の橋  
 登る白ん山路  
 破きたる路  
 きんこ  
 谷を  
 ぬふ



九段坂  
 招魂まらまら  
 一杯呑んで  
 登る九段  
 坂で

海軍の汽船



沖 蒸気船  
品川 蒸気船  
お茶とやあけ  
蒸気船

橋



遠目鏡  
橋  
あけ  
あけ  
あけ  
あけ  
あけ  
あけ

十八

新緑のやう



遠目鏡

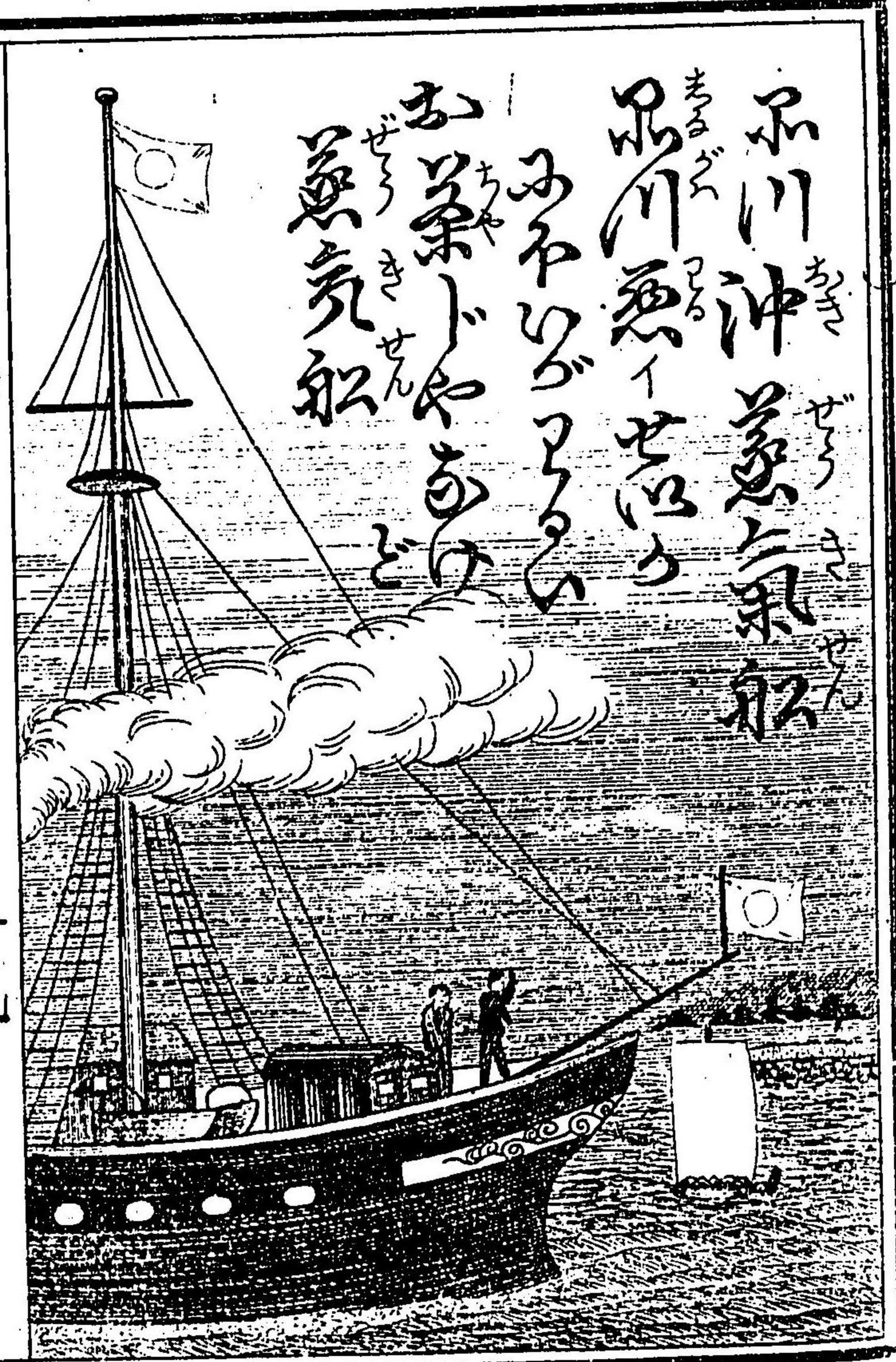
橋

下流の舟

あつたので

あつたので

あつたので



赤川沖蒸気船

赤川蒸気船

あつたので

あつたので

あつたので

新緑のやう

新編 大坂の陣

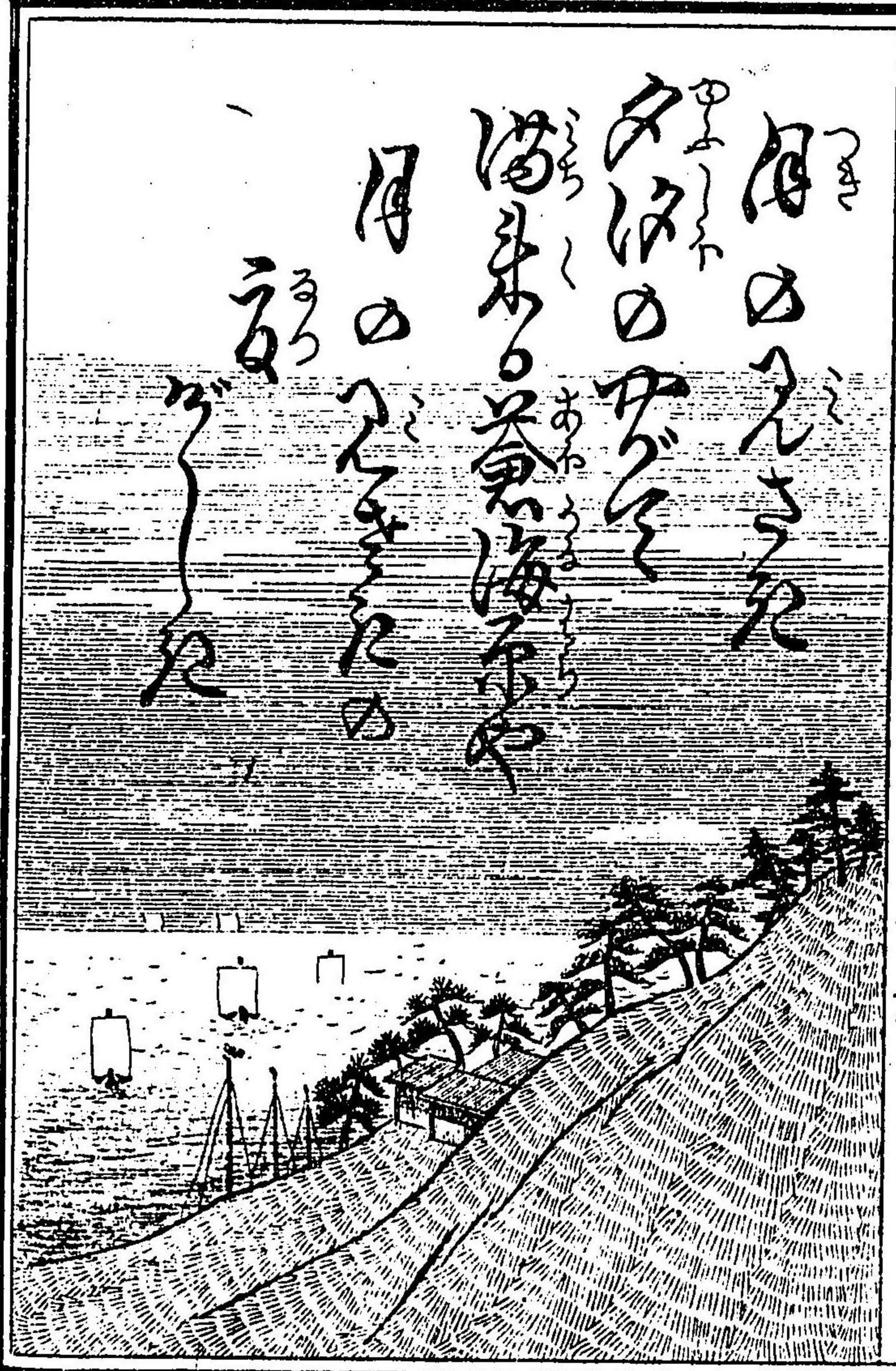
月日はえさる

夕日のかぎり

満ちあふみ海軍

月のついでに

うら



二ノ

川崎大師

末とまは

さくら

大師

さくら

あ



新編 大坂の陣

新編 海防 文庫

七十八

月日は見えたり

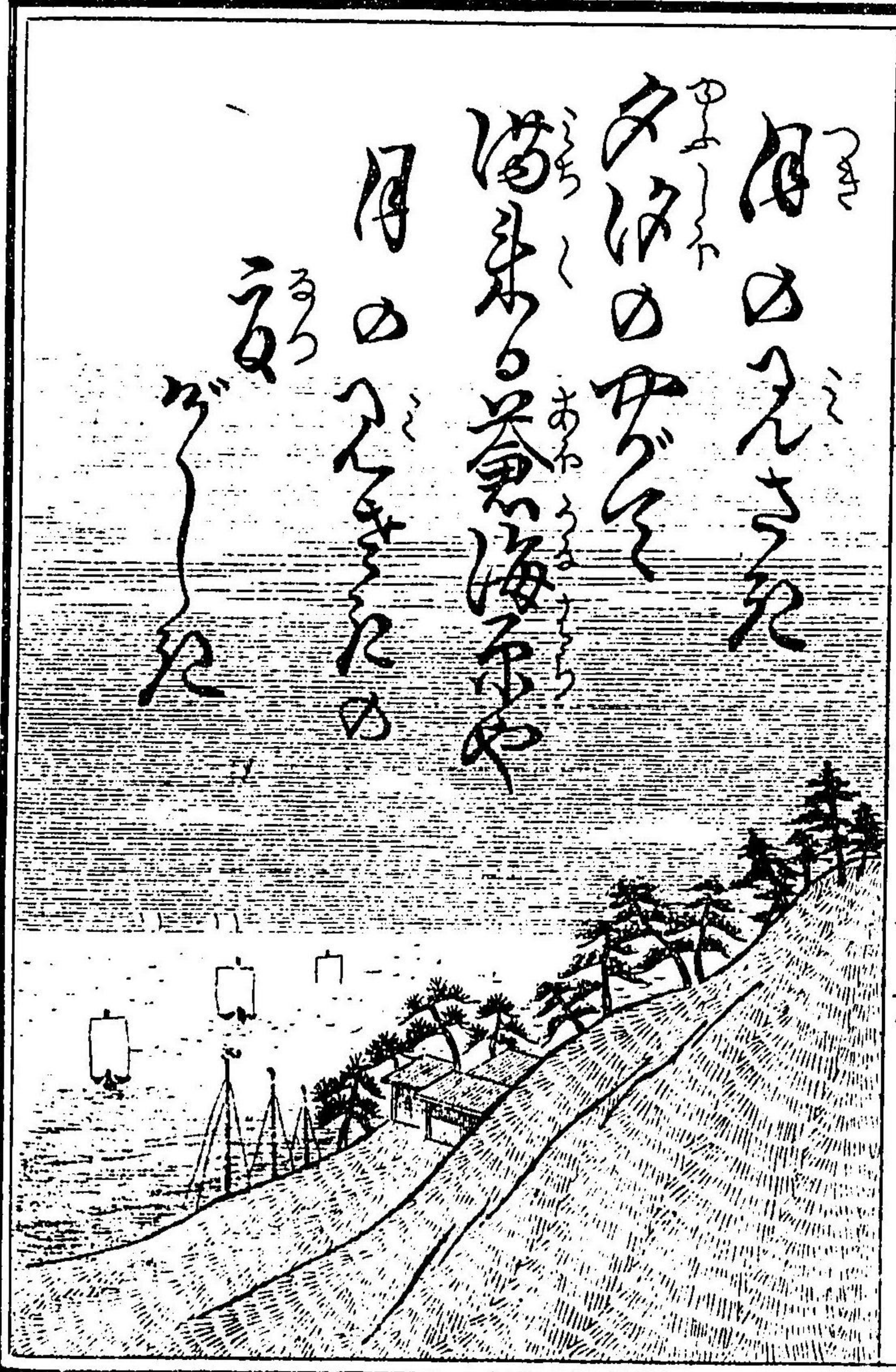
夕日の光り

満ちたる海も

月の光り

うら

ら



川崎大師

末はま帰と

さくらんぼの

大師

さくらんぼ

あ



新編 海防 文庫

首尾の松

出づるは

志の

船の

そら



十二

八

義

松

是



舟のついで

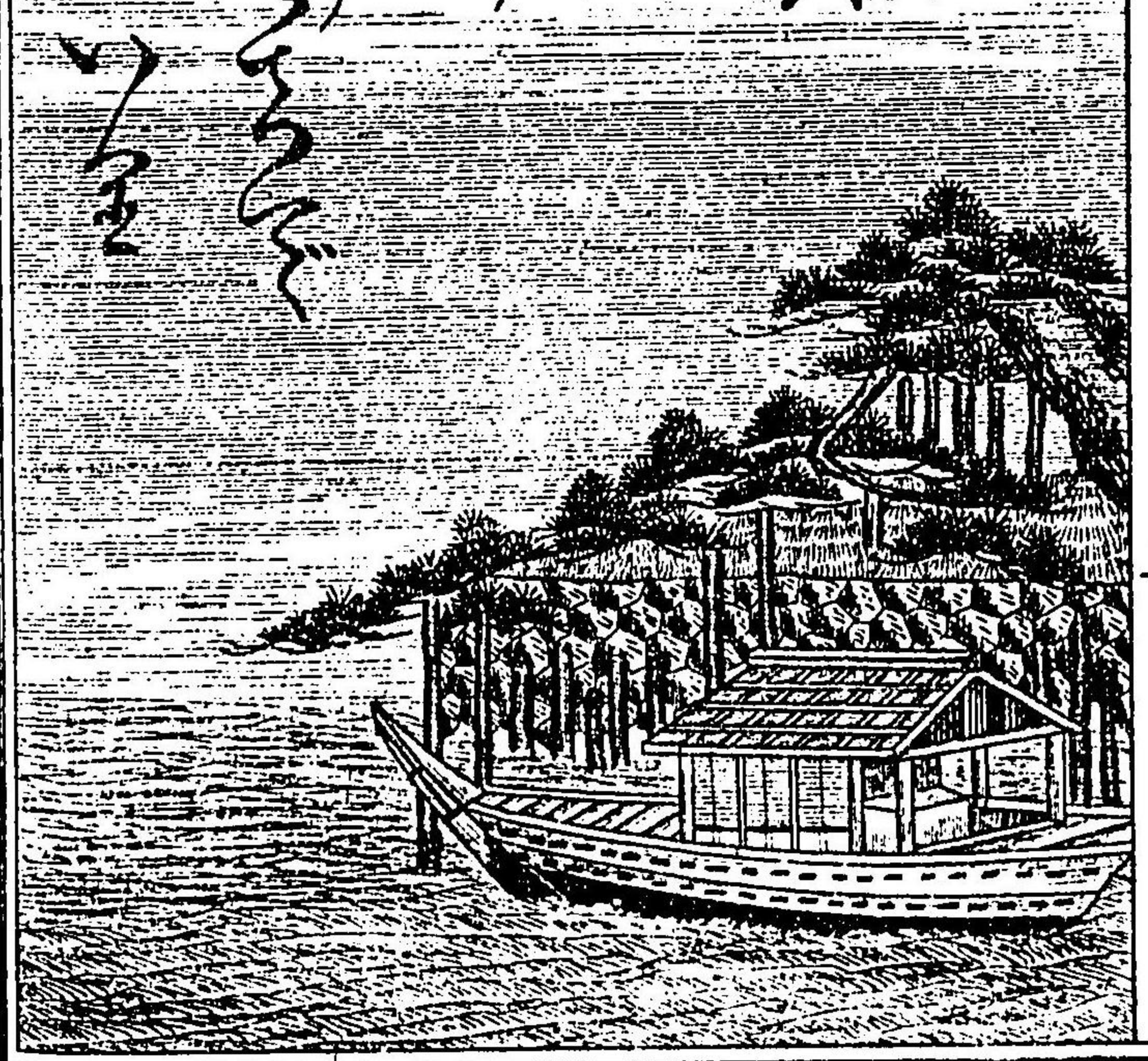
首尾の松

出—はるふ

志のむ

船公

そら  
ね  
の  
ま



廿

十二松

八艘

義経

松

美



十二  
松

舟のついで

廿一



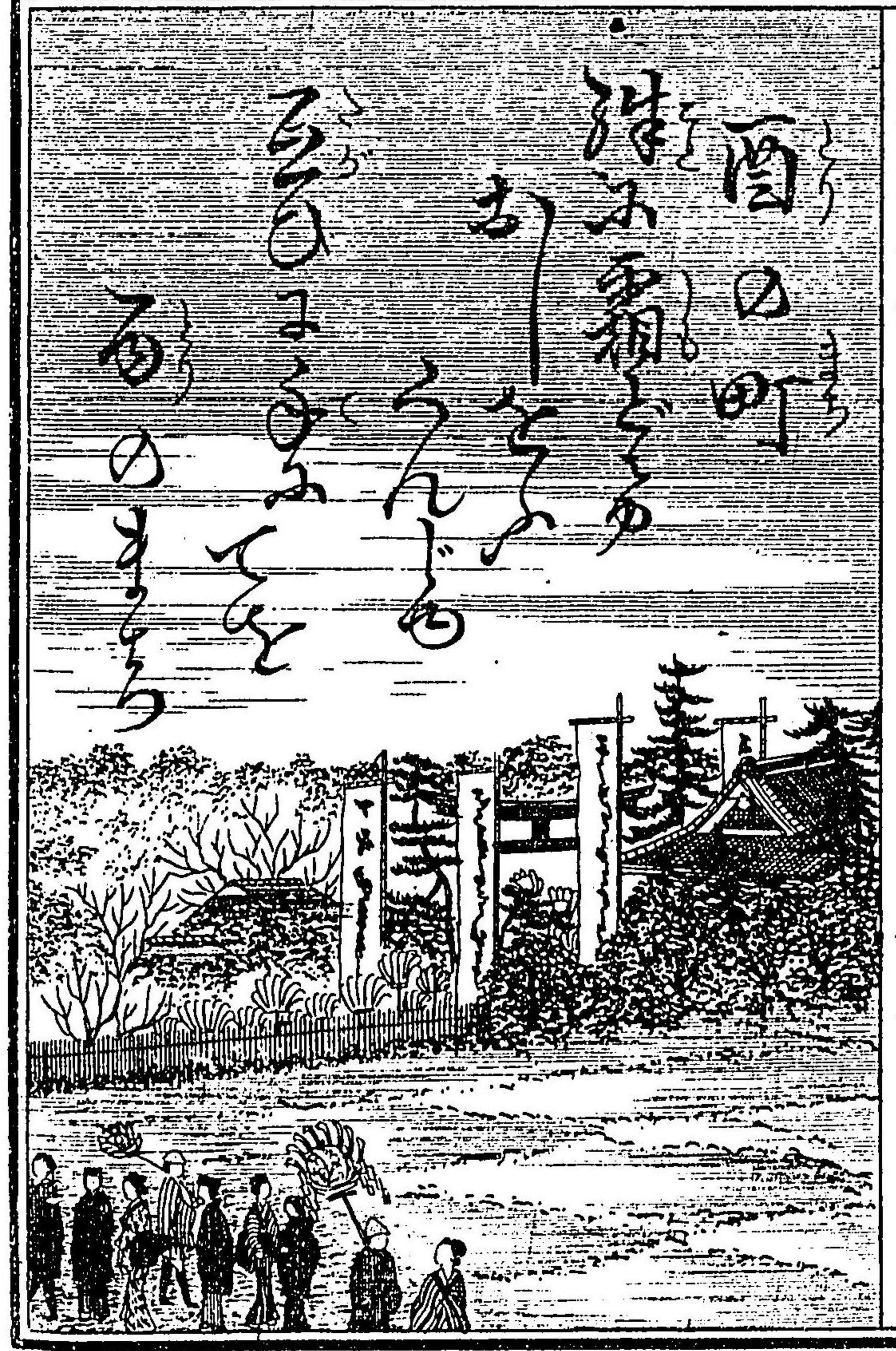


湯島天神



湯島天神  
 湯島天神  
 奉るふ前田  
 毒ふ石が  
 あら  
 ありまへ

酒の町



酒の町  
 津ふ霜とま  
 おしとふ  
 うんども  
 五のよふふ  
 のまを

十一





亀井戸  
 天神  
 梅鉢  
 石井  
 石井  
 石井



見返橋  
 石井  
 石井  
 石井  
 石井

石井  
 石井  
 石井



亀井戸かめいど  
 天神てんじん  
 梅球うめま  
 多神たかみ 橋はし  
 鳥とり 河がは  
 夜よ 小こ

鳥河夜小

十一



鳥とり 河がは 夜よ 小こ  
 見返みへ 橋はし  
 おのぶおのぶ 女をんな 土つち のの 橋はし  
 鳥とり 河がは 夜よ 小こ

鳥河夜小

十二

向場接岸場

素のり

うぶ

しん

白らり

あま

土



今戸有明樓

接岸

ろ

しん

あま

あま



向嶋梅若塚

毒ころの

うごころ

白らり

あまの

あまの

あまの



今戸有の樓

櫻付

ろりか

とや

あまの

あまの

あまの



水神の森

聖堂坂

道もさか

ある

聖堂坂

道もさか

都



廿五

水神の森

水神の森

水神の森

水神の森

水神の森

水神の森



水神の森

廿五

水鏡

聖堂坂

首をさく

ある

聖堂坂

守り

郭公



十五

水神の森

水神の森

あふ

川

さる

船

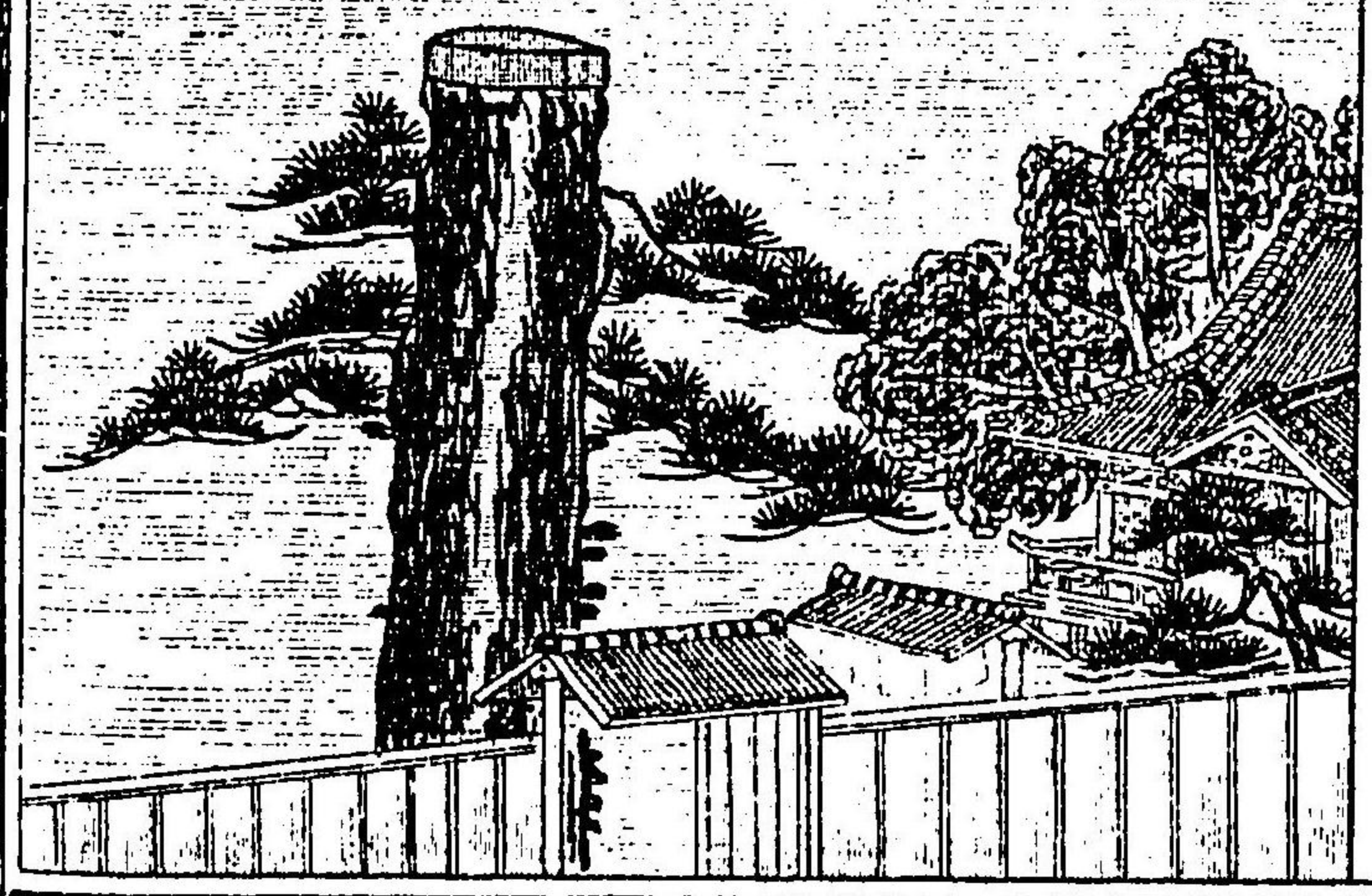


水鏡

十六



中宮殿の御見  
 柳の妙見  
 妙見の白く  
 地水もたて安  
 腰もある  
 柳の  
 一より



清殿山の櫻  
 寺の  
 河殿の  
 山王の  
 月





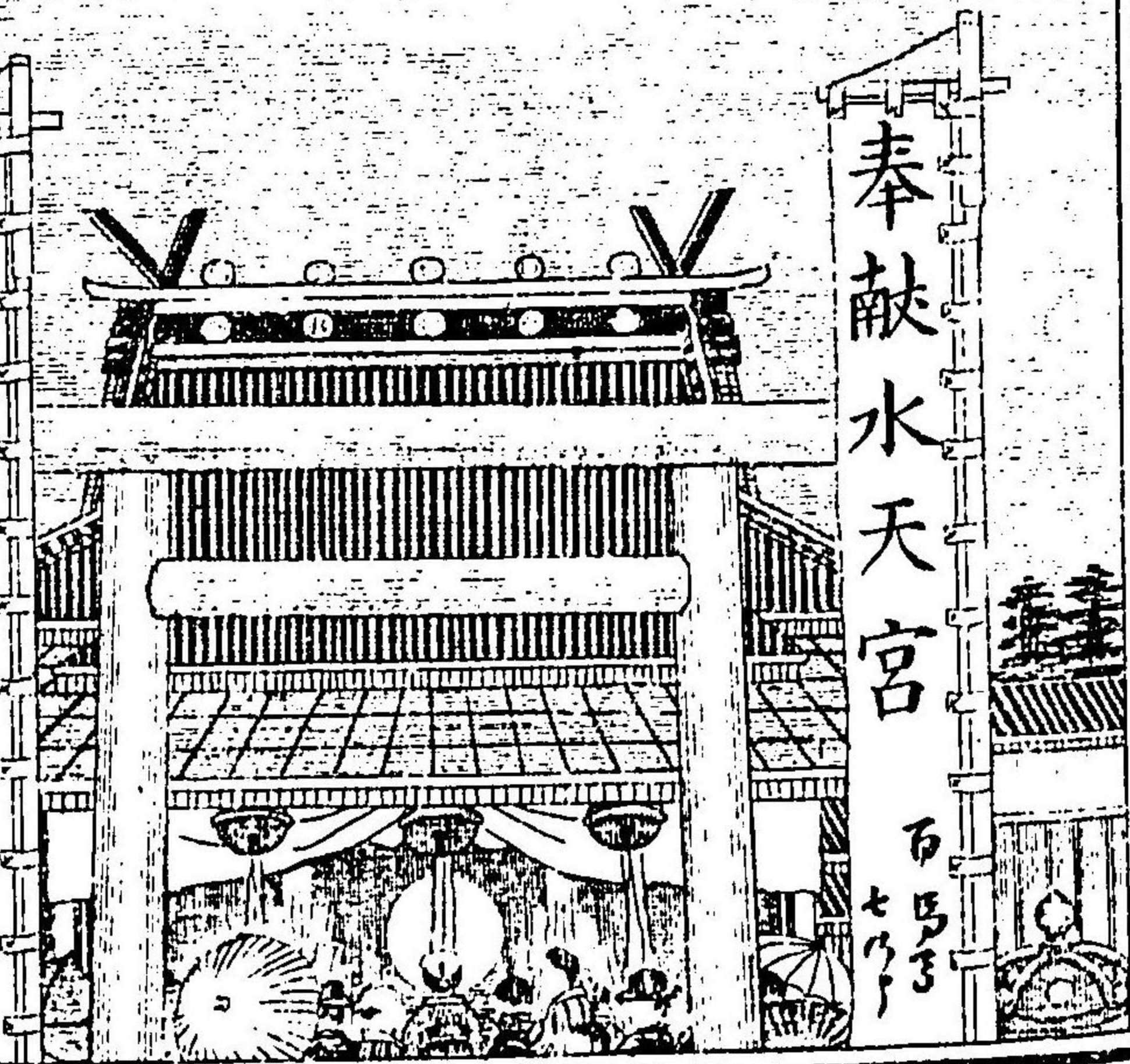
蘇我氏御

廿九

奉献水天宮

百四十三

水天宮  
縁のうさぎ  
水天宮  
あまのまはら  
るる  
あまの



奉献水天宮

百四十三

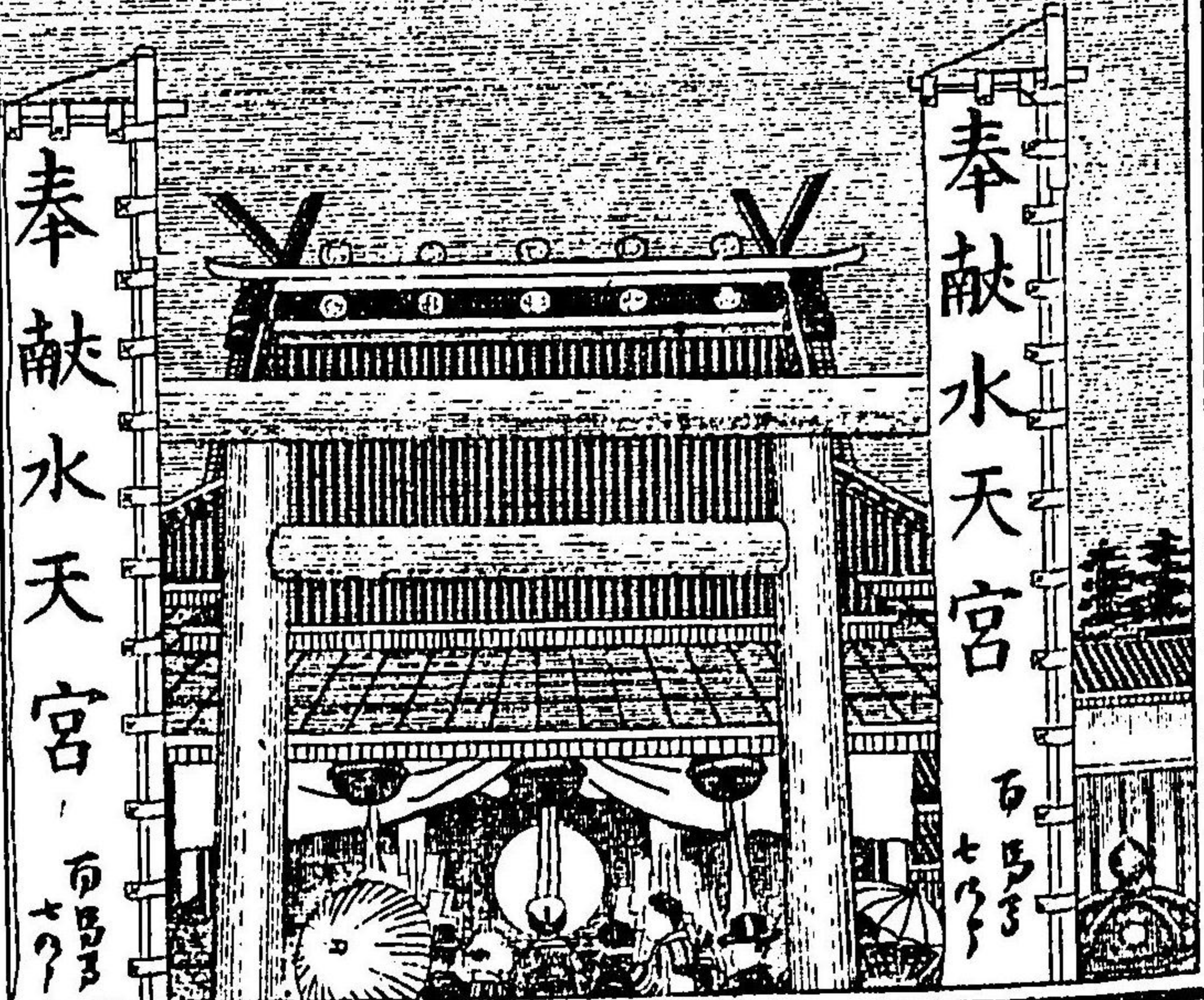


日本橋  
小き家形  
百美の  
人の性素  
日本橋

蘇我氏御

卅一

水天宮  
 縁のしき  
 水天宮  
 女のま婦  
 る  
 中



日本橋  
 小寺  
 人日  
 本橋

東京の電燈

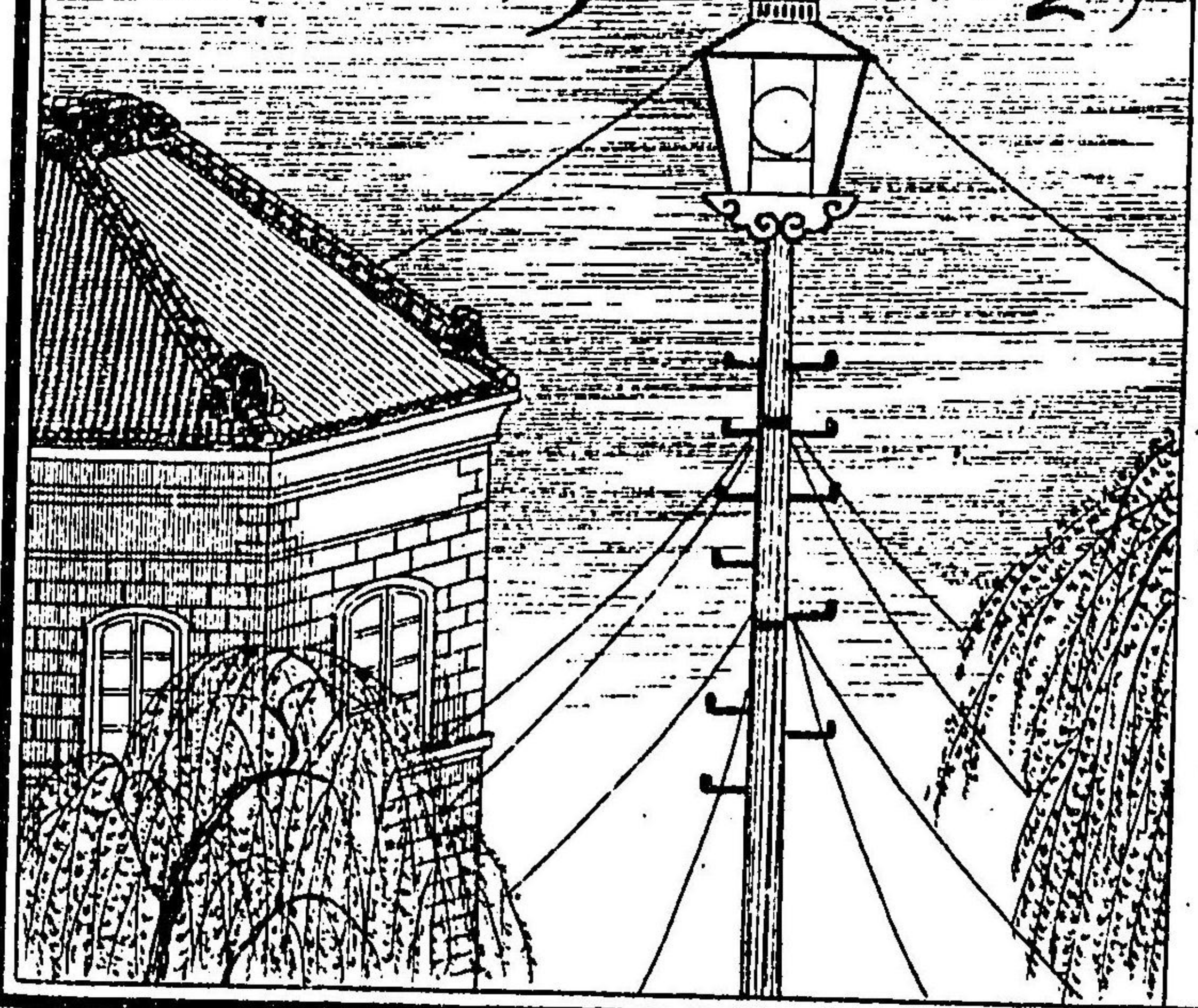
銀座電氣燈

芝子

閑谷の

銀座通りの

電氣



世

吾妻の森

吾がつよ

貞女のうら

トラダ

山の神



東京の電燈

世

玉川結網布

高野川

きりぎり

細布

素

嵐



漆井の菜  
おひ漆井の  
福免より  
君の





海安乃紅葉  
 おのを深る  
 時雨の紅葉  
 うるふと  
 海安乃

明治十六年七月廿三日御届  
 同年同月 出版

定價金二拾錢

編輯人

東京府平民

岸善四郎

本所横綱町壹町目五番地

出版人

全

山崎勝太郎

深川御船藏前町三拾二番地

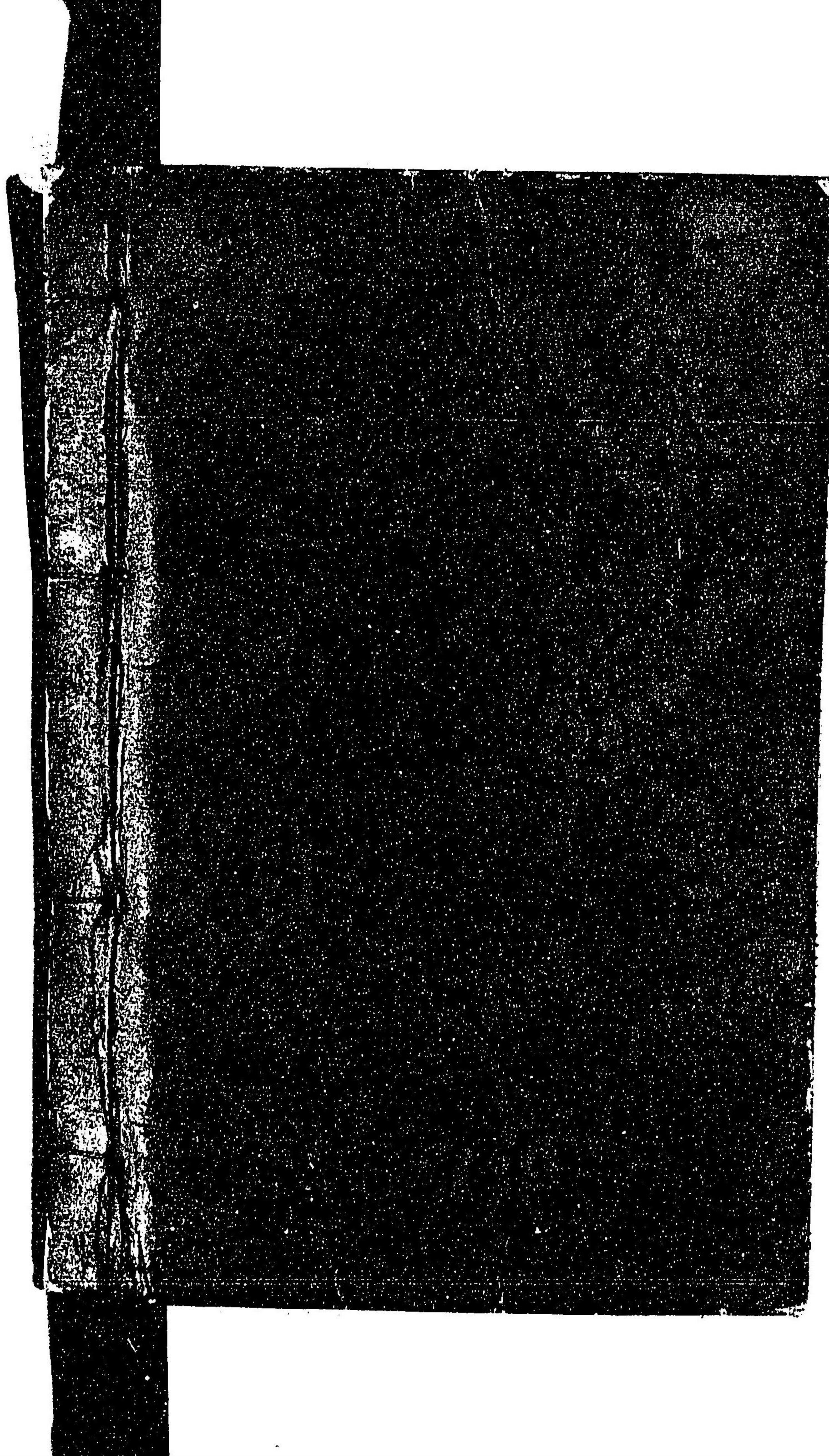
發閱人

全

山崎物心次郎

本所横綱町壹町目五番地







特60  
405

205275-000-3

特60-405

東京土産

岸 善四郎 / 編

M16

EDV-0336

